

The RifleSports

一筋の軌跡が、
未来をつなぐ

ここに、ALways OK



ALSOK

 24時間365日駆けつけ。お家に非常ボタンがある安心を。 

HOME **ALSOK** *Connect* コネクト

24時間
365日受付



サンキュー ツヨイ ミカタ
0120-39-2413



◀詳細はこちらへ

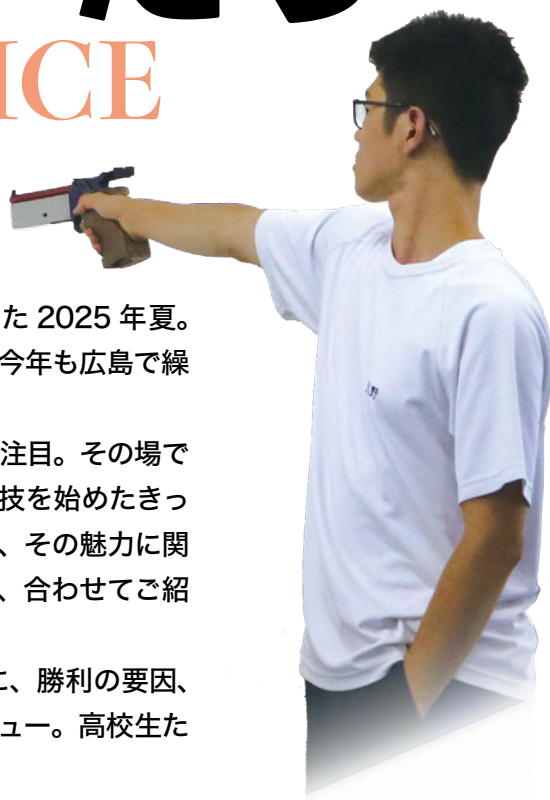


第3回全日本高校生スポーツ射撃競技選手権大会& 第63回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

日程 7月28日(月)～31日(木)
場所 つつがライフル射撃場(広島県)

栄光を手にした アスリートたち

リアル VOICE



連日「猛暑」の言葉が飛び交った2025年夏。気温よりも熱い高校生射手の戦いが今年も広島で繰り広げられました。

今大会、勝利に輝いた選手たちに注目。その場で喜びの声を伺うとともに、後日、競技を始めたきっかけ、射撃を続けてきて学んだこと、その魅力に関するアンケートを実施しましたので、合わせてご紹介します。

また、団体優勝した高校の監督に、勝利の要因、部活動の実態などについてインタビュー。高校生たちの『いま』をお届けします。

(協力：全国高等学校ライフル射撃事務局)



全国大会の歴史を紐解く

全国高校生 射撃選手権大会

63年のあゆみ

「日本ライフル射撃協会史〈大正・昭和編〉」より

高校生大会は大正時代に 初声をあげた

高校生の射撃大会の歴史を紐解くと、昭和を越え、ちょうど100年前の大正時代にさかのぼります。

大正14年（1925年）5月17日、明治大学、早稲田大学、東京帝国大学（東京大学）、政法大学など7校が参加して「第1回学生射撃大会」が東京大久保射撃場で行なわれました。このとき、同時に開催されたのが『全国中等学校（旧制）射撃大会』です。旧制中学校というのは5年制の学校で、現在の中学と高校をあわせたような年齢にあたることから、日本ライフル射撃協会史ではこれが高校生最初の大会と記載されています。

このときの出場校は早稲田中学校・開成中学校・学習院中等科・府立第二中学校・国士館中学校・攻玉社中学校・荏原中学校・目白中学校・順天中学校・成城中学校の10校です。競技は30年式歩兵銃または38式歩兵銃を使用し、射距離200m、姿勢は依託（支えるもの）に銃をもたせかけて行なう。伏射で発射弾数は5発など、

現在のルールとはかなり異なっていたようです。ちなみに、この大会の優勝校は学習院中等科。2位が目白中学校、3位が国士館中学校でした。

現在につながる全国大会 オリンピックの前年にスタート

第二次世界大戦後、大学射撃の再出発が始まるとともに、射撃競技の普及発展のため、当時日本射撃界の礎を築いた指導者たちが立ち上がります。各大学射撃部のOBを通じて、母校に働きかけました。それに応えたのが、明治大学附属中野高校の生徒2名、中央大学附属高校の生徒3名で、『彼らはおそらく高等学校射撃の先駆者であり、現在の基礎をつくった功労者ともいえるだろう』（協会史）と記されています。

昭和34年、明大附属中野高校射撃部を設立。翌35年、中大附属高校、続いて法政二高に同好会がつくられるなど、高校スポーツ界に環境が整っていきます。そして、昭和36年5月、『高等学校生徒がライフル射撃競技を通じ、心身を強健にし、人格を陶冶し、

スポーツマンシップならびに協同と自主独立の精神を体得するとともに、高等学校における射撃競技の健全なる発達をはかる』ことを目的として、全国高等学校ライフル射撃連盟を発足。昭和38年8月、現在につながる第1回全国高等学校ライフル射撃選手権大会が神奈川県富岡射撃場で開催されました。参加校は札幌北星学園男子校・東北高校・軽井沢高校・明大中野高校・中大附属高校・中京商業高校・大阪日新高校・立命館高校・奈良一条高校・奈良女子大附属高校・奈良高校の11校で、競技は立射40発、学校対抗戦は1チーム2名で行なわれました。学校対抗では北星学園高校が、個人では明大中野の菅野和男選手が358点で優勝しています。

*

大正、昭和、平成を経て、令和の現在、100を超える学校が出場しています。3年前からピストル競技も始まりました。現在の環境は先人たちの努力があつてこそのもので、いうことを忘れずに競技に臨みたいものです。

夏の全国大会出場 149校一覧

(P…ピストル、R…ライフル)

〈北海道〉北海道科学大学高校 (P R) / 札幌新陽高校 (P) / 道立北海道釧路江南高校 (R)

〈青森〉柴田学園大学附属柴田学園高校 (P R)

〈宮城〉仙台育英学園高校 (P R) / 東北高校 (P R) / 東北生活文化大学高校 (P R)

〈秋田〉県立秋田高校 (P) / 県立秋田工業高校 (R) / 秋田令和高校 (R)

〈山形〉米沢中央高校 (P) / 県立南陽高校 (R) / 東北文教大学山形城北高校 (R)

〈福島〉日本大学東北高校 (P R) / 仁愛高校 (R)

〈茨城〉県立下館第一高校 (P) / 県立竜ヶ崎第二高校 (P) / 県立竜ヶ崎第一高校 (P R) / 県立取手第一高校 (P R)

〈栃木〉県立真岡北陵高校 (P R) / 宇都宮短期大学附属高校 (R)

〈群馬〉明和県央高校 (R)

〈埼玉〉国際学院高校 (P R) / 栄北高校 (P R) / 西武学園文理高校 (R)

〈千葉〉県立茂原高校 (P) / 東海大学付属市原望洋高校 (P R) / 千葉黎明高校 / 県立実籾高校 (P R) / 県立茂原樟陽高校 (R)

〈東京〉中央大学附属高校 (P R) / 明治大学附属中野高校 (P R) / 都立芦花高校 (R) / 成立学園高校 (R) / 日本大学櫻丘高校 (R)

〈神奈川〉県立伊勢原高校 (P) / 日本大学高校県立深沢高校 (P) / 英理女子学院高校 (R) / 県立海老名高校 (R) / 三浦学苑高校 (R) / 県立藤沢総合高校 (R) / 日本大学高校 (R)

〈山梨〉県立笛吹高校 (P R) / 県立甲府城西高校 (P R)

〈新潟〉県立巻高校 (R)

〈長野〉上田東高校 (R) / 長野東高校 (R)

〈富山〉県立南砺福野高校 (P R) / 県立南砺工業高校 (R)

〈石川〉県立金沢辰巳丘高校 (P R) / 県立志賀高校 (P R) / 県立津幡高校 (R)

〈福井〉福井工業大学附属福井高校 (P R) / 県立科学技術高校 (R) / 県立足羽高校 (R) / 県立高志高校 (R)

〈静岡〉藤枝明誠高校 (P R) / 静岡雙葉高校 (P R)

〈愛知〉県立岩津高校 (P R) / 県立豊田南高校 (P R)

〈三重〉津田学園高校 (P) / 県立石薬師高校 (P) / 県立久居高校 (P R)

〈岐阜〉県立岐阜北高校 (P) / 大垣日本大学高校 (P) / 県立郡上北高校 (P R) / 済美高校 (P R) / 鶯谷高校 (P R) / 県立関有知高校 (R)

〈滋賀〉県立水口高校 (P R) / 滋賀学園高校 (R) / 県立石山高校 (R)

〈京都〉京都廣学館高校 (P R) / 府立園部高校 (P R) / 府立北桑田高校 (P R)

〈大阪〉府立茨木高校 (P R) / 箕面自由学園高校 (P R)

〈兵庫〉県立氷上西高校 (P) / 県立明石西高校 (P R) / 県立千種高校 (P R) / 神港学園高校 (P R) / 県立兵庫工業高校 (R)

〈奈良〉県立大和中央高校 (P) / 県立山辺高校 (P R)

〈和歌山〉和歌山信愛高校 (R) / 県立和歌山商業高校 (R)

〈鳥取〉県立鳥取東高校 (P R) / 県立日野高校 (P R) / 鳥取敬愛高校 (P R) / 県立米子高校 (R) / 米子北高校 (R) / 国立米子工業高等専門学校 (R) / 県立鳥取西高校 (R)

〈島根〉立正大学浜南高校 (P R)

〈岡山〉県立高梁城南高校 (P R) / 倉敷翠松高校 (R) / 県立高松農業高校 (R)

〈広島〉県立西城紫水高校 (P R) / 県立加計高校 (P R)

〈山口〉野田学園高校 (P R) / 下関国際高校 (R) / 県立宇部中央高校 (R)

〈香川〉県立高瀬高校 (P R) / 県立高松工芸高校 (R) / 県立坂出商業高校 (R)

〈徳島〉県立阿南光高校 (P) / 県立城西高校 (P R) / 県立城北高校 (P R) / 県立小松島西高校勝浦校 (R) / 県立小松島高校 (R) / 県立城南高校 (R)

〈愛媛〉県立内子高校 (P R) / 県立伊予農業高校 (P R) / 県立松山北高校 (R)

〈高知〉土佐塾高校 (P) / 県立高知小津高校 (P R) / 県立高知農業高校 (P R) / 県立春野高校 (P R) / 太平洋学園高校 (R) / 県立高知国際学園高校 (R)

〈福岡〉県立八女高校 (P) / 筑紫女学園高校 (P) / 県立太宰府高校 (P R)

〈佐賀〉県立佐賀西高校 (P) / 佐賀学園高校 (P R) / 県立致遠館高校 (P R) / 県立佐賀北高校 (R) / 県立佐賀商業高校 (R) / 佐賀清和高校 (R)

〈長崎〉県立大村高校 (P) / 県立長崎南高校 (P R) / 県立長崎東高校 (P R) / 県立長崎北高校 (P R) / 県立島原工業高校 (R)

〈熊本〉文徳高校 (P R) / 熊本国府高校 (R) / 九州学院高校 (R) / 熊本マリスト学園高校 (R)

〈大分〉県立中津東高校 (P) / 明豊高校 (P) / 県立由布高校 (P R) / 県立別府翔青高校 (P R) / 東九州龍谷高校 (R)

〈鹿児島〉鹿児島実業高校 (P R)

〈沖縄〉星槎国際高校沖縄校 (P) / 仙台育英学園沖縄高校 (P) / 興南高校 (P R)



ビームピストル女子優勝

ビームピストル男子優勝

もつと上達するよう頑張っていく

神池

凌羽

野田学園高校（山口県）

まさか優勝できるとは思っていませんでした。自分よりうまい選手ばかりでとても怖かったです。

援してくれたので、頑張れました。これからももつと上達するよう、頑張っていこうと思います。

後ろに同校の仲間たちがいてくれて応

ありがとうございます。

ここから心新たに組みんでいく
有本 雅歩

鳥取敬愛高校（鳥取県）

1年生のときからファイナルに出場し、今年初めて優勝することができました。予選では思ったように点数が振るわず不安が大きかったのですが、いざファイナルが始まると、ファイナル独特

の緊張感と雰囲気を感じ、楽しみながら自分の射撃に集中できました。今回の結果に満足せず、国スポなど次の大会に向けて、心新たに練習に取り組んでいきたいです。

有本選手にQ&A

①小学校6年生の春。鳥取県が行なっている「ジュニアアスリートの発掘事業」に応募。4期生として活動を開始しました。複数の競技を体験しましたが、3歳上の姉と同じくジュニアアスリート2期生としてライフル射撃を選び、選手として活躍している姿を見て、姉はライフル、私はピストルと一緒に国体に出場したいという夢を持ち、ピストル種目を始めました。姉も私も国体の出場経験はありませんが、2人同時にはまだ出場

できていないため、今後夢を叶えられるようお互いに頑張りたいと思っています。
②自己分析力と忍耐力、集中力が身に付きました。
③対戦相手がいる他競技とは異なり、自身自身の心身のコンディションが勝敗を分けるため、自己分析力が欠かせない点と、同じ姿勢で同じように射撃を行なってもまったく同じように撃つことが難しく、いかによい射撃を再現できるかという、この二つが難しくもあり魅力だと思います。



BP 女子



BP 男子

2025 年度
第3回全日本高校生
スポーツ射撃競技選手権大会

RESULTS
(大会成績)

BPM個人

- 1位 神池 凌羽（野田学園／山口）
- 2位 永田 伊吹（水口／滋賀）
- 3位 大山 結暉（豊田南／愛知）

BPW個人

- 1位 有本 雅歩（鳥取敬愛／鳥取）
- 2位 向山 莉央（北海道科大／北海道）
- 3位 岩谷 明依（致遠館／佐賀）

APM個人

- 1位 一瀬 蒼大（栄北／埼玉）
- 2位 長屋 佳芽（済美／岐阜）
- 3位 西川 雄貴（文徳／熊本）

APW個人

- 1位 喜屋武 明希子（佐賀西／佐賀）
- 2位 三浦 寿花（秋田／秋田）
- 3位 有本 雅歩（鳥取敬愛／鳥取）

エアピストル女子優勝

エアピストル男子優勝

悔しさをバネに頑張ってきた

いのせ
一瀬 蒼大
そうた

栄北高校（埼玉県）

いままでのファイナルでは何度も負け、何度も悔しい思いをしてきました。その悔しさをバネに毎日毎日練習をし、この日の全国大会のために頑張ってきました。

した。その成果を出すことができてとても嬉しく思っています。応援してくれた方々、ありがとうございました！

一瀬選手に Q&A

① 高校1年の4月からです。どの部活に入ろうかと迷っていたときに初めてこの部活を知り、興味を持ちました。② どんなときでもあきらめずに、目標に向かって突き進むことです。

③ 射撃は自分自身との戦いで、毎日毎日練習を積み重ね、過去の自分を越えたいと、強い選手に打ち勝つことができたとき、成長を実感することができ、練習を頑張ってきたと思うところです。

これからも感謝の気持ちを忘れずに
喜屋武 明希子
あきこ

佐賀西高校

自分が優勝するとは夢にも思っていなかったのですが、とても嬉しいです。また、自分が尊敬する先輩方や同年代の実力のある選手の方々と同じ土俵で全力を尽くした試合ができ、とても楽しかった。

です。この優勝は、ひとえにコーチや保護者の方々、応援してくれる仲間の存在があつてこそのものだと思います。これからも感謝を忘れず、一生懸命に練習に取り組めます！

喜屋武選手に Q&A

① 小学校6年生の頃。母とコーチが職場の同僚でコーチからの勧誘があり、母から勧められて始めました。② 真剣に努力する経験や多くの人との関わりを通じた感謝の気持ちです。射撃に対し悩んだり、それでも自分と向き合って練習に取り組んだ経験は、人

生においてとても貴重な経験だと思えます。また、射撃を通じて普通では出会えないような多くの人と関わることができました。そして、たくさんの方が私たち選手のために多くの時間を割いてサポートしてくださっていることを直に感じ、支えてくださる方々への感謝の気持ちを持つことがで

きました。③ 私にとつての射撃の魅力は、自分とことん向き合うスポーツであるということです。自分と向き合い、課題を改善するためにはどうすればいいのか、技術を高めるために必要なものは何か、そうやって一歩ずつ自分の目標に向かって進



AP 女子



AP 男子

大会新記録

APM本選

一瀬 蒼大 376点（栄北／埼玉）

BPMファイナル

神池 凌羽 233.8点（野田学園／山口）

BPMファイナル

永田 伊吹 233.6点（水口／滋賀）

BPM本選ジュニア国内最高記録

一瀬 蒼大 376点（栄北／埼玉）

BPM本選

一瀬 蒼大 376点（栄北／埼玉）

BPM本選

長屋 佳芽 372点（済美／岐阜）

BPM本選

永田 伊吹 372点（水口／滋賀）

んでいきます。そうして技術を高めていき、試合で自分の成長を感じたときの達成感や言葉で言い表せないものです。このように、自分の努力次第で決まるところが射撃の一番の魅力です。

エアライフル男子優勝

今回のエアライフル男子の全国大会は波乱の展開であった。例年の強豪選手がなかなか調子が出ず、しかしファイナルのボーダーは404、5点と高かった。

永忠寿 えいしゅ
ただとしか
明治大学付属中野高校2年（東京都）

た。悔しい思いをした選手も多かったと思う。自分はそのようななかで、いつもどおり撃ちきることができたことを誇りに

波乱の展開のなかで撃ちきることができたことが誇り

ビームライフル女子優勝

堂本七海 どうもと ななみ
小松島西高校勝浦校3年（徳島県）

この経験を自信にして次の目標へ

高校生活最後の全国大会を優勝という形で終えることができて、とても嬉しく思っています。毎日の練習はとてみたいへんでしたが、仲間や先生方の支え

全国優勝という経験を自信にして、次の目標に向けて頑張ります。

- 堂本選手にQ&A**
- ① 高校に入学した1年生から。姉二人が高校時代に射撃をしていて楽しそうだったのがきっかけ。
 - ② 真夏の暑いなかでも、コートを着て射撃をする忍耐力がついた。
 - ③ 基本的に自分一人でする競技なので、メンタルを鍛えることができた。

ビームライフル男子優勝

森下瑛太 もりした えいた
城南高校3年（徳島県）

最後の大会を最高の形で終えられた

緊張しているなかでよく頑張ったなっと思います。

いままでファイナルでは、1位をとったことがなかったのですが、最後の試合

なので力を出し切ろうと思い頑張りました。自分にとつて最後の試合だったので、全国1位という最高の形で終わることができてよかったです。



第63回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

RESULTS (大会成績)

BRM個人

- 1位 森下 瑛太（城南／徳島）
- 2位 浜口 宏大（城南／徳島）
- 3位 富松 利信（済美／岐阜）

BRW個人

- 1位 堂本 七海（小松島西勝浦／徳島）
- 2位 秋吉 柚奈（由布／大分）
- 3位 馬場 真奈佳（佐賀学園／佐賀）

ARM個人

- 1位 永 忠寿（明大中野／東京）
- 2位 加藤 凛（済美／岐阜）
- 3位 大川 蓮（国際学院／埼玉）

ARW個人

- 1位 川村 悠夏（成立学園／東京）
- 2位 浅野 海空（関有知／岐阜）
- 3位 石田 紬葵（済美／岐阜）

エアライフル女子優勝

思う。1位をとれたことを喜びながらも、決して完璧な内容の射撃ができていない。これから精進したい。

永選手にQ&A

- ① 中学1年生。自分はフットサルを7年間やっていて、何か新しいスポーツに取り組んでみたいと思っていたところ、射撃という存在を知り興味を持ったからです。
- ② 射撃で何かうまくいかない、姿勢を直したいと思ったときに、いろいろと試行錯誤した結果、課題を見つけてそれに対処する能力を学べました。
- ③ 練習の成果が点数というわかりやすい形で現れるところ。

サポートしてくれた人たちのおかげ

川村 悠夏

成立学園高校2年（東京都）

今回エアライフル女子40の種目で優勝することができて、とても嬉しく思います。正直ファイナルでは途中何度か気持ちが弱気になる場面もありましたが、最後まであきらめずに撃ちきることができて本当によかったです。この優勝は自分が悩んだときにサポートしてくれたチームやコーチ、友だち、寮生活で離れていてもずっと応援してくれた家族のおかげでなりたっている、と改めて実感しました。

これからの支えてくれる人たちにより報告ができるよう、日々の練習に励んでいきます。応援ありがとうございます。

川村選手にQ&A

- ① 小学5年生冬頃から始めました。高知県のジュニアアスリートをさまざまなスポーツの体験を通して発掘・育成する、高知くろしおキッズの四国地域発掘・交流育成プログラムがきっかけです。
- ② 射撃では、自分の心の動きが結果に大きく影響することを実感しました。そのため、うまくいったときもいかなかったときも、原因を細かく考え、自分自身と向き合うことの大切さを学びました。また、答えが出ないときには先輩やコーチに相談し、アドバイスをもらうことで新しい考え方に出会い、自分の成長につながることも学びました。
- ③ 私にとって射撃の魅力は、一つのことを深く考え、多くの人から学び続けられることです。努力が実って点数が伸びたとき、憧れていたファイナルに出場できたとき、周りの応援やアドバイスに助けられたときなど、射撃を通して多くの学びがありました。たくさんの方の経験を通じて気づきや成長がたたくさん得られる競技だと思っています。



BRM団体

- 1位 城南高校（徳島）
2位 明治大学付属中野高校（東京）
3位 由布高校（大分）

BRW団体

- 1位 城西高校（徳島）
2位 由布高校（大分）
3位 倉敷翠松高校（岡山）

ARM団体

- 1位 国際学院高校（埼玉）
2位 明治大学付属中野高校（東京）
3位 済美高校（岐阜）

ARW団体

- 1位 城西高校（徳島）
2位 済美高校（岐阜）
3位 国際学院高校（埼玉）

大会新記録

- BRM団体
城南高校（徳島）1247.1点
- BRWファイナル
堂本 七海（小松島西勝浦／徳島）253.1点

エアライフル団体女子 優勝

徳島県にある練習環境が
強化の強い味方

城西高校(徳島県)

あ お き み つ ひ ろ
青木 満博 監督

今回の勝利の要因

今年のチームの特徴は、3年女子に力がある選手が揃ったことです。昨年から実績を出すようになり、全国大会での優勝を目指して黙々と練習していました。その姿勢に下級生の子たちが引つ張られ、自然にいいチームになってきていました。その様子を日々間近に見てきましたので、優勝が決まったときは、よかったです心から思いました。

強化について

強化については、一人ひとりの競技力を高めることに力を置いていますが、全体として考えますと、徳

島県エアライフル射撃連盟の強化システムののおかげも大きくあると思います。当校にはエアの環境がないため、チームライフルの練習しかできません。そのため、平日は学校で練習し、チームがうまくなった選手については週末を利用し、県連盟で練習することができるようです。徳島県は他県と比べて競技人口が多く、射撃部のある高校は6校あります。銃につきましても、教習銃がかなり用意されていますので、購入しなくてもエアライフルに挑戦することができるというメリットがあります。加えて、2週間に一度の頻度で県内

大会も行なっていますので、県内で豊富な経験を積むことできるというように環境が整っています。

指導者として

私としては、選手たちに強くなっ
てほしいという思いはもちろんあります。でも、それ以上に高校3年間部活動をやってよかったと思っ
てほしいと思っています。強くなっ
た、成績が残せたというのは選手た
ちが一生懸命頑張った結果です。3
年生はこれで引退する選手たちが
多いので、よい終わり方ができてよ
かったと安堵しています。



エアライフル団体男子 優勝

個々の技術とチーム力
それが勝利の要因

国際学院高校(埼玉県)

す み や り さ
角谷 理沙 監督

今回の勝利の要因

今年のチームはそれぞれ技術力
が高い選手たちが揃っていたという
こと。これが今回の勝因の一つとし
て挙げられるかと思います。高校
生から射撃を始める子が多いため、
団体戦で3人の力が揃うというこ
とはなかなかないからです。

それに加えて、今年は非常に高
いチーム力がありました。射撃は個
人競技ですが、選手一人の努力だけ
で強くなっているわけではありませ
ん。多くのサポート、応援が選手
を強くしてくれているのです。そう
した周囲への感謝の気持ちを持って
選手たちが臨んだ結果、それが今

回の成績に現れたのだと私は考えて
います。

強化について


当校ではこの夏のインターハイが
終わるとほとんどの3年生が引退し
ていき、チームは世代交代をして1
年かけて全国大会に向けてやってい
くというのが年間のスケジュールで
す。これから始まる冬は、筋力トレ
ニングなどを行なって体力をつける
時期と位置付けています。射撃は
静のスポーツといわれていますが、
銃を持って姿勢を維持するためには
やはり体力が必要だからです。
また、同様に大切に考えているの

がチーム力です。ここを上げるため
に、人間力向上にも重点を置いて
取り組んでいます。その一つとして
どんなチームにしたいのか、具体的
に選手同士での話し合いなども行
なうよう指導しています。

指導者として

選手とは信頼関係を築くこと、
そして、前述したようにチームで勝
つこと、ここを大切に指導に携わっ
てきました。今年の選手たちは、素
晴らしいチーム力を見せて優勝を
飾ってくれました。このようなチ
ームをつくりあげてきた選手たち一
ひとりを私は誇りに感じています。





環境を守る スポーツを守る 未来を守る TEAM JAPAN!

来たときよりもきれいに！



公益財団法人日本オリンピック委員会
Japanese Olympic Committee

20th Asian Games
Aichi-Nagoya 2026

2026年アジア競技大会が 日本にやってくる！ ～ Play Back アジア競技大会～



大会概要

第20回アジア競技大会(2026／愛知・名古屋)

開催日時／ 2026年9月19日(土)～10月4日(日)

愛知県総合射撃場

©OpenStreetMap contributors / CC BY-SA

4年に一度、アジア諸国のアスリートが揃い、競い合う、アジア最大のスポーツフェスティバル・アジア競技大会。アジアオリンピック評議会（OCA）が主催する大会で、東に位置する日本・韓国・中国から東南地域のベトナム、シンガポール、南のインド、中央地域のカザフスタン、西地域のサウジアラビアなど、45の国と地域が参加して行なわれます。競技種目もセパタクロー、カバティなど、オリンピックにはないアジア特有の競技があることも大会の魅力の一つです。

この祭典が来年、愛知県にやってきます。ここ日本で行なわれるのは、第3回東京大会、第12回広島大会について32年ぶり3回目となります。大会が1年前に迫り、地元・愛知県ではさまざまなイベントが始まっているようです。

射撃競技にとって、アジア競技大会は中国、韓国など、世界トップのアスリートが揃うこともあり、世界の力を地元で体感できる貴重な機会です。今号では、1年前に迫ったことを記念して、アジア競技大会での日本ライフル射撃競技の主な歩みを振り返ってみたいと思います。

直近アジア大会選手団



仁川



ジャカルタ



杭州

1954年ライフル射撃1回目のマニラを振り返る

第1回アジア競技大会がインドで開催された1951年（昭和26年）、日本は初めて国際射撃連合（現・国際射撃スポーツ連盟）に加盟。世界への挑戦の扉がここから始まります。

日本の射撃が世界に出て行ったときのことについて、日本のピストル選手のパイオニア・保坂調司選手が書き残されている資料とともに紹介します。

Play Back アジア競技大会の始まり

1951年（昭和26年）、第1回大会がインドの首都ニューデリーで開催されました。

当時は第二次世界大戦が終わってまもない時代でした。大会開催には、戦禍によって引き裂かれたアジア諸国の絆を、スポーツを通じて取り戻したいという平和への願いが込められています。

射撃競技は第1回大会から3年後の1954年、第2回マニラ大会（フィリピン）からスタートしていますが、日本もこのときから選手を送り出しています。

また、日本では1958年（昭和33年）第3回東京大会、1994年第12

回広島大会と過去2回、開催されており、今回の愛知・名古屋大会は32年ぶり3回目となります。

Play Back これまでのアジア競技大会開催地

回	開催年	開催都市	開催国	参加国・地域
1	1951(S26)	ニューデリー	インド	11
2	1954(S29)	マニラ	フィリピン	19
3	1958(S33)	東京	日本	16
4	1962(S37)	ジャカルタ	インドネシア	12
5	1966(S41)	バンコク	タイ	16
6	1970(S45)	バンコク	タイ	16
7	1974 (S49)	テヘラン	イラン	19
8	1978(S53)	バンコク	タイ	19
9	1982(S57)	ニューデリー	インド	23
10	1986(S61)	ソウル	韓国	22
11	1990(H02)	北京	中国	36
12	1994(H06)	広島	日本	42
13	1998(H10)	バンコク	タイ	41
14	2002(H14)	釜山	韓国	44
15	2006(H18)	ドーハ	カタール	45
16	2010(H22)	広州	中国	45
17	2014(H26)	仁川	韓国	45
18	2018(H30)	ジャカルタ・パレンバン	インドネシア	45
19	2022(R04)	杭州	中国	45

※第19回はコロナウイルスの影響で1年延期となり、2023年に開催されている

Play Back 先人の声を聞く

平和の尊さを実感として受け止めたアジア競技大会

我が国の国際ピストル競技史の誕生

昭和28年の春頃と記憶しているが、安齋實さん（当時協理理事長）が猪熊（幸夫）さんをともし警視庁月島射撃場へ来場され、しばらく射場主任らとお話しされていた。おふたりが帰られたあと、射場主任から安齋さんのお話として次のことを聞かされた。それはオリンピック大会にはライフル射撃と

てほしい、というお話であったという。（後略）

第2回アジア競技大会

第2回アジア大会のピストル射撃競技には、私と川岡鶴吉さんのふたりが出場することに決定し、昭和29年4月28日羽田空港をたちマニラに向けて発した。そしてその夜の夜マニラ市に到着して選手村に入村した。競技の結果は、フリーピストルの部でトータル534点で私の優勝だった。（中略）

さて、話を再び元に戻すが、選手村に滞在中村内を行き交う各国の選手たちは国籍を問わず、顔を合わすと笑顔であいさつを交わし、お互いの健康を祝福し合いながら握手を交わしている。私は連日このような情景を目のあたりに見て、なんとすばらしいことであろうか、よく『スポーツ外交』という言葉や文字は見たり聞いたりするが、私はこのとき改めて平和の尊さを実感として受け止め、戦争はぜつたいに避けなければならないと痛感した。

（日本ライフル射撃協会史 昔の出来事／保坂調司より）◆保坂 調司 ほさか・ちよ
うじ／日本のピストル競技の草分け的選手。
1954年アジアFP優勝、RFP優勝。
1956年メルボルン・オリンピックFP4位、RFP15位。1958年アジアRFP優勝。
1968年メキシコ・オリンピック監督）

1994年第12回広島アジアを振り返る

いまだ31年前の1994年（平成6年）、東京に続き2回目となる自国開催となったアジア競技大会が広島で開催されました。これまで国の首都で開催されてきたアジア競技大会が地方都市で初めて開かれた記念すべき大会でした。

「Asian Harmony わかちあう感動、結びあう友情」をスローガンにキャンペーンが行なわれ、マスメディアでも大きく取り上げられました。

このときの活躍はライスポでも写真とともに、数ページにわたって選手たちの熱い戦いを紹介しています。すべてを掲載できないので、ここでは特集の総論部分を紹介します。

Play Back ライスポ

総力をあげた強力な選手強化策を

今回の競技で日本が獲得したメダルは14種目で団体と個人合わせて「金」3「銀」5「銅」5、計13個で、90年の北京大会（13種目）と同じ13個を獲得した。

今回から旧ソビエト連邦から分離したカザフスタン、ウズベキスタン、キルギスタン、モンゴルなどが新たに加わり、いくつかのメダルを獲得した。また東南アジア諸国や中近東のイラン、オマーン、カタールなどの活躍もあった。これらの国のなかにはあと一歩でメダル獲得というところで逃した国もあった。

このような状況のなかで日本はよく戦った。むしろ一生懸命戦い前回の

メダルの数を減らさないように必死に守ったという印象だった。そのなかで韓国はメダルを増やし、中国は「金」を減らした。中国はこのまま黙っていないだろう。次の大会には北朝鮮も出てくると思う。

東南アジアや中近東勢も経済の成長に助けられてさらに力をつけてくることは十分に予想できる。現にこれらの国のなかには外国からコーチを招いて選手強化に励んでいる。これらのコーチたちは広島で熱心なコーチングをしていた。

「スポーツは勝つものだ」という考え方が最近ますます強くなってきた。ナシヨナリズム発揚にスポーツは手取り早く有効な道具になるからだ。

日本も競技力をつけるために努力しているが、このままでは心細い。目減りする恐れがある。技術力とともに勝たなければいけないという場面で必ず勝つという精神の強さもつくらなければならぬだろう。諸事情を抱えたいへんだが選手強化に一層の努力がさらに必要となってきたと感じを強めた大会だった。（ライフルスポーツ1994年11月号から抜粋）

ASCオタイビ専務理事、アジア競技大会施設を視察

9月6日（土）から11日（木）の6日間、アジア射撃連盟の専務理事のドウアイジ・オタイビ氏が日本を訪問。アジア競技大会の会場視察をメインに、橋本聖子・日本ライフル射撃協会会長への表敬訪問、ナシヨナルトレーニングセンターの視察などをされました。会場はまだかなり大規模な工事中だったものの、「前回の杭州の射撃場はかなり大きく、ショットガンとライフルの施設が距離的に離れていました。ここはコンパクトにまとまっていて移動しやすいですね」とオタイビ専務理事。このほか宿泊施設なども確認され、来るアジア競技大会に向けて着実に準備が進んでいることを確認されて帰国の途につかれました。

ライフル射撃競技 主な成績

〈個人〉			
FP	優勝	中重	勝
AP	3位	中重	勝
AP	3位	稲田	容子
SR 3×20	優勝	小島	則子
SR 伏射 60 発	2位	小島	則子
FR 種目別立射 40 発	優勝	木場	良平
AR	3位	柳田	勝

〈団体〉	
AR	2位
AP	2位
FP	2位
FR 伏射	2位
SR 伏射	3位
SR 3×20	3位

選手団主将を務めた
木場良平さんに聞く

選手宣誓を終え

「自分の広島アジアは8割終わった」と思ったくらい緊張しました

広島で開催されたアジア競技大会は、国内で大きな注目を集めた大会でした。日本でこうした大きな国際大会が開かれるのは、久しぶりだったということがあったでしょう。協会もとても力が入っていたように思います。

それまでも大会に向けた合宿というものはありませんでしたが、私の感覚ではこの大会から合宿が増えたような気がしています。アジア大会のためにつくられた広島・湯来の射撃場（つつがライフル射撃場）で本番に備えて練習できるということで、半年ほど前から合宿を行ない、万全な体制で臨むという感じでした。

その合宿中だったと思います。JOCから「日本選手団の主将を引き受けてほしい」という要請がありました。驚きましたね。日本選手団の主将といえは大役です。当時の私は、そうした役は柔道などのメジャーな競技がやるものだと思っていました。最初はお断りしようと思ったのですが、私が2年前のバルセロナ・オリンピックでメダルを獲得していたこと、30代という年齢、そして自

衛官という職業、こうしたことから大役をしっかりと果たしてくれるだろうというところで私に白羽の矢が立ったのだと聞き、そうしたことならばお受けしなければということ、お引き受けしたと記憶しています。

このお話をいただく前は射撃に集中



選手宣誓する木場主将 開会式 開会式で選手宣誓する木場良平主将。左は大林素子旗手=2日午後、広域公園陸上競技場

写真提供：共同通信社

ゼスという陸上の選手が選手宣誓を行なったのですが、彼は緊張から宣誓の途中で言葉が出てこなくなるというハプニングに見舞われました。それをちょうど私は見ていたんですね。あのときの彼の姿が鮮明に思い出され、あんなったらまずい、という思いが私のなかにあり、よ

すればいいと考えていたのですが、主将

として選手宣誓を行なわなければならぬということ、射撃どころではなくなりました（苦笑）。間違えてはいけなく、と合宿中も毎日練習していましたね。というのも、1984年のロサンゼルス・オリンピックでエドウィン・モー

り緊張したのだと思います。

そんなことから、開会式で無事選手宣誓を済ませると、私の広島アジアは8割終わったような感じでした（笑）。試合には過度の緊張もなく、いい感じに臨むことができました。しかも、このときの男子3姿勢はトータルの成績とは

別に、膝射・立射・伏射それぞれ種目ごとにメダルが授与されたんですね。そのおかげで、私は立射40発で金メダルを獲得することができました。この夜だったか、広島で放送されたテレビニュースで「選手団主将・木場選手がやっと金メダルをとってくれました」というようなことが報じられ、それを聞いてほっとしたことを覚えています。ただ、主将としての緊張は解団式を終えるまで、とけることはありませんでした。

振り返りますと、この広島アジアは射撃選手としての人生のなかで思い出に残っている大会の一つです。これまでロサンゼルス、ソウル、バルセロナと3回のオリンピックとアジア競技大会、ワールドカップと数々の大会に出場してきたなかで、この広島は思ったような結果こそ出すことはできませんでしたが、選手団の主将をやらせていただいたという、どの大会にも変えられない大きな大会だったといえると思います。

木場 良平 こば・りょうへい/1962年生まれ。鹿児島県出身。オリンピックでは1992年FSB3Pで銅メダルを獲得、1984年ロサンゼルス、1988年ソウル出場。アジア競技大会では1986年ソウル大会FSB3P優勝、1990年北京大会50m伏射優勝、FSB3P2位、AR3位。1994年広島立射40発優勝。

ISSF事務総長アレックス・サンドロ・ニコトラ氏に聞く International Shooting Sport Federationが描く、 射撃界の青写真

日本をロールモデルに、 段階的に共生大会を実施。 そして、eシューティング大会の実現を目指す



9月中旬、ISSF国際射撃スポーツ連盟の事務総長・アレックス・ニコトラ・サン・ジャコモ氏が来日。

来年に迫ったアジア競技大会関係者とのミーティング、ナショナルトレーニングセンターやJOCジュニアオリンピックカップの視察など、精力的に日本国内を回られました。

そのアレックス・ニコトラ氏に直撃インタビュー。日本の現場を直接ご覧になった感想と、ISSFが目指している射撃界についてお話を伺ってきました。

（通訳：寺井 史大 / ISSF Sports 委員会委員）

「今回、各所回られたと聞いております。『アジア競技大会の関係で来日中のASCオーストラリア専務との会議からスケジュールが始まり、ジュニアオリンピック競技なども見せていただきました。大会の雰囲気やアスリートの数に圧倒されました。ナショナルトレーニングセンターも訪問し、世界のどの高品質な施設と比べても遜色ないどころか、それ以上の施設であると感じましたし、そこで見た風景には大きな感銘を受けました」

「それはどのようなことでしょうか？」

「パラリンピックのアスリートと、オリンピックを目指すアスリートと一緒にトレーニングしていた光景が非常に印象的でした。こうして練習することはお互いにより刺激を受けることにつながっていると思いますし、なによりこのこと自体が特別なメッセージを持っていると思います。私はここ日本で、社会的包括の意味をみつけたような気がしています」

「ほかの国でこうした取り組みは？」

「残念なことに、同じような取り組みを行なっているところはありません。こうした面では日本は、他国よりも何歩も何十

歩も先を行っていることはまちがいありません。

この社会的包括のメッセージを届けるためにも、パラ射撃と一緒にやることを世界的標準にしたい。また、こういうことで、現在ISSFでは、パラ射撃をシューティングファミリーの一員として、一つのくくりのなかで一緒に競技を行なっていくという方向で進めています。合意はとれていますので、あとは総会で認めてもらうだけという状況です」

「日本で現在共生大会として障がいのある男女も関係のない大会が行なわれていますが、そのような大会をISSFが開催するというのでしょうか。」

「そのとおりです。日本をロールモデルにして既存の大会にパラアスリートにも参加してもらい、同じイベントのなかで戦っていくということです。2026年までは段階的に進めていき、それ以降に関しては完全にISSFとして、この取り組みを進めていきます」

「eシューティングに関するミーティングも行なわれたと聞いています。」

「こちらについても、eスポーツへの道筋を松丸喜一郎さんが築いてくださったことに感謝申し上げます。我々の目的、目標は新しいスポーツを創出することにあります。ISSFとしてeスポーツに可能性があるのであれば、そこを模索し、競技として成り立たせていくことが重要であると考えています。ISSFはすでに定款のなかでeスポーツ委員会の設置を記載しており、eスポーツもシューティングファミリーの一員として、積極的に関わっていきます。その手始めとして、日本のeシューティング協会と一緒に、2026年にeスポーツ大会を行なうこ

とを予定しています」

「最後に、メッセージをお願いします。」

「シューティングという競技は私たちにたくさんの方のメッセージを送ってくれます。まず、私が一番強く感じているのは、『自分自身との戦い』ということです。そして、あなた自身がもしもオリンピックでなかったとしても、オリンピックたちと一緒に競いあうことができるスポーツです。誰か他人と競うのではなく、自分自身と競技をする。ここにシューティング競技の意味があると思いますし、素晴らしいことだと思っています」

ジュニアアスリートに贈られたメッセージ

元オリンピックコーチとして、みなさんにアドバイス。アスリートとしてのキャリアには、よい日も悪い日もあります。正直に言うと、悪い日の方がよい日より多いことがよくありますが、みなさんが特定の夢、オリンピックの夢に向かって努力していることを決して忘れないでください。今日の結果がよくても悪くても、それは夢を実現するために築いている壁の一つのレンガに過ぎません。

みなさんはこの競技の未来、私たちの未来を代表しています。私たちはみなさんのために公正で包括的なスポーツを構築するために懸命に働いています。





SIUS と共に 新たなステージへ

 SWISS PRECISION

日本における
光学式電子標的・超音波式電子標的の
リーディングカンパニー

ISSF公認 (Phase III・最高評価の公認)
SIUS社 日本総代理店



日本ビーム株式会社



2025 アジア選手権カザフスタン

開催地：射撃場（カザフスタン・シムケント）
開催日：8月16日（土）～30日（土）
報告者：森 栄太／選手強化委員会ピストル強化委員



ARW

1位	ヴァラリヴァン・エラヴェニル (IND)	253.6
2位	ベン・シンロ (CHN)	253.0
3位	クォン・ウンジ (KOR)	231.2
本選通過点数	1位 635.4、8位 630.3	
15位	平田 しおり (ALSOK)	628.8
20位	泰地 陽詩 (明治大学)	627.9
27位	野畑 美咲 (明治大学)	627.0
38位	堀之内 愛 (自衛隊体育学校)	621.9 (RPO)
42位	田邊 伶奈 (岐阜車体工業)	620.6 (RPO)

ARW Team

1位	ベン／リュウ／ジャン (CHN)	1902.0
2位	クォン／クム／クォン (KOR)	1897.5
3位	ヴァラリバン／ゴシュ／ナイドゥ (IND)	1891.0
5位	平田／泰地／野畑	1883.7
本選通過点数	1位 1902.0、8位 1880.2	

ARMIX

1位	IND 2 ヴァラリバン／バプタ (IND)	
2位	CHN 1 ベン／ルー (CHN)	
3位	JPN 2 泰地／花川	628.2
本選通過点数	1位 634.0、8位 626.9	
14位	Japan1 (野畑／岡田)	625.7

R3PM

1位	トマー・A・P・シン (IND)	584-28x	462.5
2位	ジャオ・ウェンユ (CHN)	587-30x	462.0
3位	岡田 直也 (ALSOK)	585-24x	448.8
本選通過点数	1位 587-30x、8位 581-27x		
15位	花川 直樹 (自衛隊体育学校)	578-20x	
30位	大塩 勇斗 (福井村田製作所)	569-20x	

R3PM Team

1位	ジャオ／リン／リ (CHN)	1750-83x
2位	トマー／シン／シェオラン (IND)	1747-87x
3位	リー／モー／キム (KOR)	1740-78x
5位	岡田／花川／大塩	1732-64x
本選通過点数	1位 1750-83x、8位 1714-59x	

SP

1位	ジャン・ユエユエ (CHN)	584-20x	39
2位	シャオ・ジアルイシェン (CHN)	588-21x	39
3位	トリン・トゥーヴィン (VIE)	581-23x	29
本選通過点数	1位 588-28x、8位 581-23x		
29位	佐々木 千鶴 (岩手県警察)	567-14x	

R3PW

1位	サムラ・シフト・カウル (IND)	589-24x	459.2
2位	ヤン・ユージェ CHN	584-31x	458.8
3位	野畑 美咲 (明治大学)	587-24x	448.2
本選通過点数	1位 589-24x、8位 584-25x		
11位	平田 しおり (ALSOK)	584-23x	
19位	堀之内 愛 (自衛隊体育学校)	579-26x	
20位	泰地 陽詩 (明治大学)	579-26x	
30位	田邊 伶奈 (岐阜車体工業)	570-26x	

R3PW Team

1位	サムラ／チョウクセイ／ムードギル (IND)	1753-72x
2位	平田／堀之内／野畑	1750-73x
3位	リー／イム／キム (KOR)	1747-84x
本選通過点数	1位 1753-72x、8位 1655-33x	

RFP

1位	スーリエンボーファン (CHN)	583-23x	36
2位	アニシュ・アニシュ (IND)	583-21x	35
3位	イ・ジェギン (KOR)	585-20x	23
本選通過点数	1位 585-20x、8位 581-22x		
14位	吉岡 大 (京都府警察)	574-18x	
16位	武内 響 (自衛隊体育学校)	574-17x	



堀之内選手 野畑選手 平田選手



花川選手 泰地選手



岡田選手

Athlete Voice

野畑 美咲 選手

R3PWの本選ではK(膝射)とP(伏射)を上手に撃つことができましたが、S(立射)ではARと同様に、コートの方角による姿勢の変化という課題に直面しました。ファイナルではKがとてもよくでき、収穫がある一方で多くの課題も見つかる大会となりました。

今回メダルを獲得できたことを、いつも支えてくださるコーチのお二人、そして応援してくださるみなさまに心から感謝いたします。

これからは、すべての国際大会でファイナル進出とメダル獲得を目標に取り組んでいきます。

岡田 直也 選手

50m 種目の国際大会個人戦で初めてのメダルとなりました。射撃場の風の影響により、決勝進出点数は高くないだろうと想定し、攻めた射撃ができたことがメダル獲得につながったと思います。

今後は直近のWC寧波大会と世界選手権を戦い抜き、来年のアジア大会を迎えたいと思います。

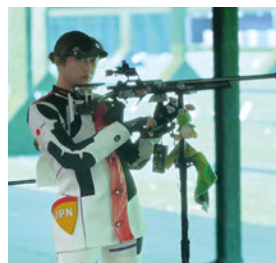
花川 直樹 選手

AR 種目において海外初メダル(ブロンズ)をとりました。率直に嬉しく思います。毎試合見てくれている親によい報告ができそうです。

ファイナル中、自分の射撃のリズムを体現できたのはよかった。反省点として、自分のなかでもっと深い10点を撃ちたい気持ちが出てしまって、それがミスショットにつながってしまった部分があったので、次回は反省点を含めてもっとよい射撃ができるようにし、次回選手権でメダルとりたいです。とります。

泰地 陽詩 選手

海外初メダルはただただ嬉しいです。帰ったら一番に家族に報告したい。これまで応援してくれた方々に感謝を伝え、今後も頑張り、射撃選手として強くなりたいです。



RESULTS

APM

1位	フー・カイ (CHN)	585-23X	241.6
2位	ホン・スヒョン (KOR)	580-22X	239.0
3位	ジョハリコウ・アミール (IRI)	582-27X	216.8
本選通過点数	1位 585-27x、8位 580-17x		
19位	中山 惇之丞 (岡山商科大学)	576-17x	
20位	岩佐 正貴 (自衛隊体育学校)	576-16x	

APW

1位	マー・チェンカー (CHN)	579-15X	243.2
2位	ヤン・ジン (KOR)	581-16X	241.6
3位	バカー・マヌ (IND)	583-18X	219.7
本選通過点数	1位 584-26x、8位 576-20x		
13位	相澤 ひかる (警視庁)	574-19x	
30位	佐々木 千鶴 (岩手県警察)	568-13x	

AP MIX

1位	マー・チェンカー/チャン・イーファン (CHN2)		
2位	ユ・ヒョンヨン/イ・ウォンホ (KOR2)		
本選通過点数本選	1位 (581-15x) 8位 (574-19x)		
20位	相澤/岩佐	564-17x	
23位	佐々木/中山	560-12x	

ARM

1位	サトパエフ・イスラム (KAZ)	631.7	250.1
2位	ルー・ディンケ (CHN)	629.5	249.8
3位	パク・ハジュン (KOR)	630.3	228.7
7位	岡田 直也 (ALSOK)	629.6	144.3
本選通過点数	1位 632.3、8位 629.5		
19位	花川 直樹 (自衛隊体育学校)	626.2	
29位	大塩 勇斗 (福井村田製作所)	622.6	

ARM Team

1位	パティル／バプタ／ジャダフ (IND)	1892.5
2位	リー／ルー／ワン (CHN)	1889.2
3位	パク／リー／ソ (KOR)	1885.7
6位	岡田／花川／大塩	1878.4
本選通過点数	1位 1892.5、8位 1849.4	

総評

カザフスタン・シムケントで開催されたアジア選手権は、新設された特殊なレイアウトの射撃場、さらには現地特有の気候など、これまでにない未知の環境下での大会となりました。

そのような厳しい状況のなか、日本代表は銀メダル1個・銅メダル3個という成果を収め、来年日本で開催されるアジア大会に向けた大きな指標となるとともに、今後の強化方針を示す意義ある結果となりました。

特に女子選手の活躍は目覚ましく、野畑選手が個人種目で銅メダルを獲得し、さらに団体戦で銀メダルを勝ちとるなど、日本ライフル射撃における女子選手層が世界基準に到達したことを示す大会となりました。

今大会を通じて、選手たちは大きな手応えを得るとともに目標意識を一層高めています。彼らのさらなる飛躍に期待するとともに、今回の成果が日本射撃界全体の活性化につながることを強く願っています。

2025 ISSFワールドカップ(寧波)

開催地：中国・寧波
開催日：9月7日(日)～15日(月)
報告者：佐橋 朋木/選手強化委員長



RESULTS

AP MIX

- 1位 ヤオ・チェンシュン/フー・カイ (CHN)
- 2位 シェイパドヴァ・ヴェロニカ/ドゥボヴィ・ジンドリフ (CZE)
- 3位 メイジャー・ヴェロニカ/ナギ・アコシュ・カロイ (HUN)
- 15位 相澤 ひかる/岩佐 正貴

AR MIX

- 1位 デュースタッド・J・ヘッグ/ヘッグ・ヨン=ヘルマン (NOR)
- 2位 ペン・シンルー/シェン・リーハオ (CHN)
- 3位 サラフィア・カルロッタ/ソラツツオ・D・デニス (ITA)
- 9位 泰地 陽詩/花川 直樹
- 18位 野畑 美咲/岡田 直也

AP M

- | | | | |
|----|-----------------|---------|-------|
| 1位 | フー・カイ (CHN) | 589-23x | 242.3 |
| 2位 | ユー・チェンジェ (CHN) | 585-22x | 241.5 |
| 3位 | ソラリ・ジェイソン (SUI) | 584-20x | 220.4 |
- 本選通過点数：1位 589-23x 8位 582-25x
19位 岩佐 正貴 580-15x

AR M

- | | | | | |
|----|-------------------|-------|-------|----|
| 1位 | ソラツツオ・D・デニス (ITA) | 633.5 | 255.0 | WR |
| 2位 | シェン・リーハオ (CHN) | 637.1 | 253.5 | |
| 3位 | パク・ハジュン (KOR) | 632.5 | 231.9 | |
- 本選通過点数：1位 637.1 8位 632.3
24位 岡田 直也 (ALSOK) 629.4
52位 花川 直樹 (自衛隊体育学校) 626.6
66位 大塩 勇斗 (福井村田製作所) 621.3

SP

- | | | | |
|----|-------------------|---------|----|
| 1位 | ヤン・ジン (KOR) | 586-16x | 39 |
| 2位 | オ・イェジン (KOR) | 586-22x | 37 |
| 3位 | シャオ・ジアルイシェン (CHN) | 588-25x | 33 |
- 本選通過点数：1位 594-22x 8位 583-21x
24位 財津 美加 (大分県警察) 576-18x

R3P

- | | | | |
|----|---------------------|---------|-------|
| 1位 | デュースタッド・J・ヘッグ (NOR) | 589-28x | 466.2 |
| 2位 | イブセン・リッケ・メン (DEN) | 587-32x | 463.3 |
| 3位 | デッブスカ・バルボラ (CZ) | 586-25x | 451.4 |
- 本選通過点数：1位 589-28x 8位 585-33x
48位 平田 しおり (ALSOK) 579-25x
56位 野畑 美咲 (明治大学) 577-24x
58位 堀之内 愛 (自衛隊体育学校) 575-24x
61位 田邊 伶奈 (岐阜車体工業) 573-17x RPO
64位 三浦 莉桜 (鯖江村田製作所) 568-19x RPO

AP W

- | | | | |
|----|-----------------|---------|-------|
| 1位 | シン・エシャ (IND) | 578-16x | 242.6 |
| 2位 | ヤオ・チェンシュン (CHN) | 584-25x | 242.5 |
| 3位 | オ・イェンジン (KOR) | 584-24x | 220.7 |
- 本選通過点数：1位 584-25x 8位 578-16x
15位 相澤 ひかる (警視庁) 574-17x
36位 財津 美加 (大分県警察) 561-13x

RFP

- | | | | | |
|----|------------------|---------|----|----|
| 1位 | ピーター・フロリアン (GER) | 583-22x | 34 | |
| 2位 | キカンボワ・ジャン (FRA) | 584-21x | 33 | |
| 3位 | ベサゲ・クレマン (FRA) | 584-23x | 28 | SO |
- 本選通過点数：1位 592-23x 8位 582-23x
12位 吉岡 大 (京都府警察) 579-25x
21位 武内 響 (自衛隊体育学校) 576-17x



エリック・エグルトコーチとウーヨンコーチ

AR W

- | | | | | |
|----|---------------------|-------|-------|--------|
| 1位 | ペン・シンルー (CHN) | 637.4 | 255.3 | WR WRJ |
| 2位 | デュースタッド・J・ヘッグ (NOR) | 634.1 | 252.6 | |
| 3位 | サジャナル・メグハナ (IND) | 632.6 | 230 | |
- 本選通過点数：1位 637.4 8位 632.0
11位 平田 しおり (ALSOK) 631.4 RPO
14位 野畑 美咲 (明治大学) 630.4
36位 泰地 陽詩 (明治大学) 628.1
40位 三浦 莉桜 (鯖江村田製作所) 627.6
43位 堀之内 愛 (自衛隊体育学校) 627.5 RPO

FRS3P

- | | | | |
|----|-------------------|---------|-------|
| 1位 | ブリヴァツキー・イジー (CZE) | 594-36x | 465.3 |
| 2位 | ピメノフ・ドミトリー (AIN) | 588-35x | 464.3 |
| 3位 | ヘッグ・ヨン=ヘルマン (NOR) | 589-35x | 450.6 |
- 本選通過点数：1位 594-36x 8位 588-35x
22位 岡田 直也 (ALSOK) 587-29x
49位 花川 直樹 (自衛隊体育学校) 582-25x
71位 大塩 勇斗 (福井村田製作所) 574-18x

Athlete Voice

いわさ まさき
岩佐 正貴 選手

国際大会で初めて練習どおりの射撃ができました。自己ベストを更新しましたが、この点数に満足することなく、さらに点数を上げられるように頑張っています。

あいざわ ひかる
相澤 ひかる 選手

結果だけではなく内容を重視して淡々と取り組むことを課題に、自信を持って次も挑戦していきたいです。

みうら りお
三浦 莉桜 選手

終始リラックスして取り組みましたが、経験不足や準備不足などと新たな課題を発見する大会にもなりました。試合が続きますが、これらをムダにすることのないよう取り組んでいきたいです。

総評

アジア選手権後、すぐのワールドカップ参加であった。アジア選手権で4個のメダルを獲得し、選手もチームとしても非常にいい状態となっている。

今回のワールドカップは残念ながらファイナル進出はかなわなかったが、岡田直也選手・岩佐正貴選手・相澤ひかる選手・吉岡大選手とファイナルまで手が届くところの結果であり、ほかの選手も可能性を秘めた結果であった。

コーチと選手の関係も非常によく、海外試合での経験とコーチとの信頼関係をさらに深めていくことが、これから先必要なことであると感じた。

新たな選手の参加も少しずつ増えてきており、海外試合での経験を有効に利用して成長してほしい。

令和7年度 全日本スポーツ射撃競技選手権大会(BPBR) 男女混合オリパラ共生大会

開催地：宮城県ライフル射撃場（宮城県石巻市）
開催日：7月21日（月）
報告者：竹下 美琴／東北高校



BR 男子



BR 女子

Athlete Voice

あきよし ゆずな
秋吉 柚奈 選手

個人・MIX のどちらとも優勝できるとは思ってなかったので自分でも驚きましたが、全国規模の大会で優勝することを目標として練習してきたので、達成することができて嬉しかったです。今回の大会で自分に自信をつけることができたので、今後の大会でも優勝や自分の記録を塗り替えられるよう、さらに技術面やメンタル面を鍛えたいです。



総評

宮城県ライフル射撃場では2年ぶりの開催でした。大会期間中は最高気温が35℃以上の猛暑日となりましたが、射撃場内は22℃くらいに設定されていたため、選手はベストを出せるような環境だったと思います。

今大会では3件と多くの日本新記録が生まれました。また、BRではファイナル出場者のボーダーラインが630点を超え、非常にレベルの高い大会であったといえます。BPでは中学生がファイナルに3名出場し、MIXではゴールドメダル・シルバーメダルを獲得するなど、中学生の活躍が目立ちました。

今回の日本新記録は下記のとおりです。

【日本新記録】

BR60MW

秋吉柚奈（大分県立由布高校）本選 637.2 点

BRMIX

大分A（秋吉柚奈・秦鳳真路）本選（パート1）630.5 点

RESULTS

BP MW

- | | | |
|-----|---------------|--------|
| 1 位 | 一瀬 蒼大（栄北高校） | 562-5X |
| 2 位 | 宮地 葵生（佐賀学園高校） | 561-5X |
| 3 位 | 神池 凌羽（野田学園高校） | 554-1X |

BP MIX

- | | | |
|-----|-----------------------|--------|
| 1 位 | 中司 莉穂那／山崎 心寧（高知B） | 553-5X |
| 2 位 | 吉本 紗菜／濱田 蒼斗（高知中学） | 545-2X |
| 3 位 | 岩谷 明依／宮地 葵生（TEAM 佐賀P） | 542-5X |

BR MW

- | | | | |
|-------|---------------|-------|-------|
| 1 位 | 秋吉 柚奈（由布高校） | 637.2 | 254.2 |
| 2 位 | 堀江 ここ菜（城西高校） | 632.0 | 252.9 |
| 3 位 | 高橋 琴音（倉敷翠松高校） | 630.5 | 230.9 |
| ※秋吉柚奈 | 本選女子日本新 | | |

BR MIX

- | | |
|-----|---------------------|
| 1 位 | 秋吉 柚奈／秦 鳳真路（大分A） |
| 2 位 | 堀江 ここ菜／阿部 有紗（城西高校A） |
| 3 位 | 花田 れりあ／片桐 大河（大分B） |

JOCジュニアオリンピックカップ兼 第35回ISSFジュニアスポーツ射撃競技選手権大会

開催地：埼玉県長瀬射撃場／埼玉県
開催日：9月13日（土）～15日（日）
報告者：田中 僚一郎／日ラ副会長



AP 男子 優勝 中山選手



AP 女子 優勝 阿部選手



BP 男子 優勝 永田選手



BP 女子 優勝 田上選手

RESULTS

AR M

- 1 位 中山 惇之丞（岡山商科大学）
- 2 位 只野 奏大（同志社大学）
- 3 位 内田 翼（同志社大学）

AP W

- 1 位 阿部 朱里（岡山商科大学）
- 2 位 中川 花論（自衛隊体育学校）
- 3 位 大信田 光琉（大曲高校）

AR M

- 1 位 奥村 壮真（水口高校）
- 2 位 戸田 陽翔（岡山商科大学）
- 3 位 長屋 光珀（明治大学）

AR W

- 1 位 村田 薫美（同志社大学）
- 2 位 西谷 愛実（小松島西高勝浦）
- 3 位 石田 紬葵（済美高校）

BP M

- 1 位 永田 伊吹（水口高校）
- 2 位 瀧田 鷹介（東海大望洋高校）
- 3 位 神池 凌羽（野田学園高校）

BP W

- 1 位 田上 華羽（長崎北高校）
- 2 位 山下 咲音（水口高校）
- 3 位 松尾 蒔乃葉（長崎南高校）



BR 男子 優勝 陸選手



BR 女子 優勝 秋吉選手

BR M

- 1 位 陸 鵬 宇（東京都ラ）
- 2 位 秦 鳳真路（由布高校）
- 3 位 竹内 大樹（国際学院高校）

BR W

- 1 位 秋吉 柚奈（由布高校）
- 2 位 堀江 ここ菜（城西高校）
- 3 位 茂木 希心葉（国際学院高校）

Athlete Voice

中山 惇之丞 選手

初めて参加してから、5回目になります。去年も優勝することができて、今年も本選1位、ファイナル1位で優勝することができてとても嬉しいです。

高校の頃、高校3年生のときのチームピストル優勝と合わせて3連覇することができたので、来年はAPで優勝し、BPと合わせて4連覇したいです。本選の大会新記録も出していけるように頑張りたいと思っています。

阿部 朱里 選手

初めてのJOCジュニアオリンピックカップだったから、優勝できてよかったです。来年も頑張りたいです。

永田 伊吹 選手

10月開催の滋賀国スポに向けてよい流れがつくれてよかったと思います。

田上 華羽 選手

本選が思うようにいかなくて悔しい部分もあったんですけど、その反省を活かしてファイナルで改善できたところもあったと思うので、この結果が出たと思います。とてもうれしいです。

奥村 壮真 選手

いままでの努力の成果だと思います。今日は本当に頑張りました。次は滋賀国スポで会いましょう。

村田 薫美 選手

素直に嬉しいです。地元で開催される滋賀国民スポーツ大会の前によい結果を出すことができて、本番に向けてよい弾みになったと思います。

これからも、特に来月開催の滋賀国スポに向けてより励んでいきたいです。

秋吉 柚奈 選手

率直に嬉しいです。本選があまり納得のいく結果じゃなかったの、ファイナルで自分の満足できるような結果が出てよかったと思っています。

陸 鵬 宇 選手

優勝して、いまの気持ちは嬉しいです。次の大会も1位を目標に頑張ります。（中学1年生）

Athlete Voice

茂木 希心葉 選手（国際学院高校）

やっと大会で結果を残すことができ、とても嬉しく思います。競技中は常に同じ撃ち方を意識し、毎回同じリズムと姿勢を保つことを意識しました。その結果、自分の射撃に集中することができ、FINALでも落ち着いて撃つことができました。FINALでは自分との戦いになりますが、自分の射撃をどれだけ貫けるかが大切になると思います。そんななかで、応援してくれた先輩方、同級生、後輩たちにはとても感謝しています。これから緊張した場面では深呼吸をして気持ちを整え、どんな状況でも力を発揮できるように、今後も努力を重ねていこうと思います。

平沢 美織 選手（栄北高校）

私の地元で開催されるジュニア日本一を競うこの大会は、どうしても挑戦したい大会の一つです。3月の全国高校選抜大会で優勝して以降、精神面が安定せず、7月の大会でも入賞できないなど悔しい敗戦が続いていたので、今回は秘策を顧問の先生と考えて試合に臨みました。その秘策とは「笑顔で試合をする」という簡単なもの。結果、点数としては満足いくものではありませんでしたが、本選を6位で通過することができました。決勝は自分のミスにより8位で終わりましたが、その結果も笑顔で受けとめることができました。この大会では、社会人や大学生、高校生のライバルに挑戦することで、本来の射撃を取り戻すきっかけとなりました。私は12月に韓国で開催される東アジアユース大会に日本代表として参加させていただきます。堂々と射撃することで、応援してくれる方々を驚かせるような射撃を見せたいと考えています。

第25回ビームライフル射撃交流大会

開催地：大阪市長居障がい者スポーツセンター体育室（大阪府）
開催日：9月7日（日）
報告者：東口 紘也



左から3位 猪本選手 1位宮城選手 2位林選手



RESULTS

自由姿勢 40 発 一般の部

- | | | | |
|-----|-----------------------|-----|---------|
| 1 位 | 宮城 柚那 | 400 | センター 33 |
| | (稲スポーツセンター) | | |
| 2 位 | 林 佑哉 | 400 | センター 32 |
| | (大阪市長居障がい者ビームライフルクラブ) | | |
| 3 位 | 猪本 康司 | 400 | センター 31 |
| | (大阪市長居障がい者ビームライフルクラブ) | | |

自由姿勢 40 発 視覚障がい部

- | | | |
|-----|-----------------------|-----|
| 1 位 | 矢野 功明 | 209 |
| | (大阪市長居障がい者ビームライフルクラブ) | |

射撃姿勢 40 発

- | | | | |
|-----|------------------|-----|---------|
| 1 位 | 東 宏 | 394 | センター 15 |
| | (稲スポーツセンター) | | |
| 2 位 | 黒田 恭亮 | 391 | センター 13 |
| | (稲スポーツセンター) | | |
| 3 位 | 河村 真由美 | 389 | センター 16 |
| | (大阪舞洲ビームライフルクラブ) | | |

立射姿勢 40 発

- | | | | |
|-----|-----------------------|-----|--------|
| 1 位 | 辻尾 玲奈 | 375 | センター 9 |
| | (大阪市長居障がい者ビームライフルクラブ) | | |



Athlete Voice

はやし ゆうや
林 佑哉 選手

今年の1月からビームライフル射撃を始めたばかりで、経験は浅いですが、今回初めて交流大会に参加させていただきました。とても緊張しましたが、よい成績をとれてすごく嬉しかったです。

いのもと こうし
猪本 康司 選手

今大会の参加は2回目でした。前回は少し緊張して思った結果が出せなかったが、練習回数が増えたことで自信がついて、緊張せず集中して本番に臨めました。3位が決まったとき、素直に嬉しかったです。これからも練習回数を増やして頑張りたいです。

総評

障がいの有無、種別、性別、年齢に関係なく、可能な限り「同じ土俵で戦う」ことを趣旨に、長居障がい者スポーツセンターで開いてきた本大会は、25回目を迎えました。

参加者は26名（内訳：障がいのある人21名、ない人5名）で、初参加の方も数名含まれ、緊張感が漂うなか、練習の成果を競い合う姿がみられました。

競技結果は、例年よりもハイレベルで、自由姿勢一般の部では、400点満点が4人で、センター数で勝敗が決まりました。視覚障がいの部の参加もあり、ヘッドホンからの音源に集中する姿も印象的でした。

今後も、大会の趣旨を大切に、さまざまな方に参加してもらえ大会にしていきたいと思っています。

射撃競技者にとって、銃関連の購入、メンテナンスなど、もっとも身近な存在の銃砲店。

大都会でひっそりと佇む銀座銃砲店はそんな店の一つ。この地に店を構えて60年以上の月日が流れた。銀座銃砲店とはどんな店か、規制の厳しい日本で、どのような思いで銃を扱っているのか、お話を伺ってみたい。



銀座銃砲店

大都会銀座の地で65年 ライフル射撃競技とともに



小塚克生さん

下山忠一さん

浜田有さん

延佑一郎さん

銀座銃砲店

住所：〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目13-7 新保ビル2階
URL：http://www.ginzagun.com TEL：03-6226-6133

銀座銃砲店。射撃関係者なら誰でも知っている店名だ。インターネットで銃砲店と検索するとすぐにヒットする。創業は昭和35年（1960年）。銀座の地に店を構えて今年で65年を迎えた。店を興したのは、日本ライフル射撃協会の第2代会長を勤めた安齋實氏の実弟である。当初からライフル射撃に特化した店づくりで、現在は2代目が引き継いでいる。社員数は役員を含む10名。役員以外はみな銃の所持許可証を所持しており、このほかアルバイトやテレワークなどで業務に携わっている人もいる。

*

案内された先にはライフル銃が壁一面に飾られていて、圧倒された。

「どうぞ、こちらへ」

恐る恐る入ると、そこは事務所のようなレイアウトになっていて、いわゆるシヨップという雰囲気はない。

「お邪魔します。ライスポです」

休日と聞いていた。

2階に上がり、画廊のドアを過ぎて奥のドアへ。昭和の趣が漂うドアはびたりと閉じられている。そういえば、今日は定休日と聞いていた。

居ビルに『銀座銃砲店』の看板がある。

人通りのまばらになったあたりの雑居ビルに『銀座銃砲店』の看板がある。交差点を新橋に向かって進み、ブランドショップが立ち並ぶ表通りから少し入る。人通りがまばらになったあたりの雑居ビルに『銀座銃砲店』の看板がある。

主に取り扱っているメーカーは代理店契約をしているファイナベルクパウ（ドイツ）のほか、ワルサー（ドイツ）、ステイヤー（オーストラリア）、アンシュッツ（ドイツ）、パルディーニ（イタリア）、ブライカー（スイス）、グリュエニツヒ+エルミガー（スイス）、モリーニ（スイス）などで、商品はそのほとんどが外国製である。注文をしてもすぐに手に入るとは限らず、輸入には半年から、長いものでは1年近くかかるものもあるという。

「ここ数年の円安や戦争の影響で輸送コストがかかり、すべての商品の価格が上昇しています。この傾向は今後も続くものと予想されますね」とは、長年ショップで働く小塚克生さん。自身も射座に立つライフル射撃競技のベテラン射手である。

＊

銃の取り扱いには専門知識と、販売などに関する許可が不可欠だ。いうまでもないが、所持許可証を持っていたも、その許可は申請してある自銃にか適用されない。店頭の商品は並んでいるが、性能を手にとって確かめたいと思っても、触ることすらできない。高額な買い物にもかかわらず。購入者が頼りとするのはカタログに書かれたスペックと、販売員の知識である。

「一口に銃といってもメーカーごとに特徴は異なりますし、特にライフルは付随する道具の変化も大きく、勉強しても勉強しても追いついていけないくらいです。自分で購入できれば一番ですが、お金がかかります。そのため、その銃を使っていらっしゃるお客様から話を聞き、情報を得るようにしています」

また、銃を初めて手にする人には、販売者として銃所持に関する法的な手続きについて説明する必要がある。この時間を「楽しいことではない」と小塚さんは言う。

「所持許可証を申請すると、ご近所や職場などに人物調査ということで、警察による聞き込み審査が行なわれます。これは正直、あまり気持ちのいいものではないですよ。私自身も先日、近所の方から、『銃をお持ちなんです』と声をかけられました。こうしたことも相まって、住宅事情が厳しくなるに伴い、銃の所持者がどんどん減っているのが現実です。ですから、これを説明することは楽しいことではないんです。せっかく射撃に興味を持ってわざわざ店まで足を運んでくれたのに、この説明を受けると、そこまでしてやらなくてもいいかな、と思ってしまうお客様もいらっしゃいます」

こうした背景から近年、本来の業務ではないが、関係者が置いていくビームライフル・ビームピストルの体験会のお知らせなどのチラシも紹介している。

「銃を所持することが難しいという方にも、ぜひ射撃競技の楽しさに触れていただきたいんです。ビームライフルはうちで取り扱っている商品ではありませんが、ためらっているお客様にはこちらをご案内させていただきます」

＊

メディアに登場する

機会が少ないライフル射撃だが、昨年のパリ・オリンピック後は『無課金おじさん』ことユスフ・ディケチ選手（トルコ）に注目が集まり、問い合わせが増えた。

「かなり反響がありましたね。ただそのほとんどがエアピストルの問い合わせで、残念ながらライフルではありませんでした」

そのなかから数名の女性がエアピストルの所持許可証の取得までたどり着いたという。銃砲店の店員として喜びを感じた瞬間だ。

さかのぼれば、創業者の兄は戦後日本の高度成長期に、初代日本代表監督を務めるなど、日本のライフル射撃競技を世界へと押し上げるべく、尽力された。その弟の創業者は、その足元の部分、銃砲店という射手にとってもつ



とも身近な場所から射撃界の一翼を担ってきた。振り返ってみると、安齋兄弟が日本ライフル射撃界の一角を支えてきたといえるのではないだろうか。

当時からルールも銃器も変わり続けている。そのなかで、射手と競技をつなぐ要として、銀座銃砲店はこれからもこの地でライフル射撃とともに歩み続ける。

New Model !!



上段：Model 900 Alu MESHPRO
下段：Model 900 Alu

Feinwerkbau GmbH Model 900 Alu

商品に関するお問い合わせは、お電話・メール、または公式LINEまで！！

株式会社 銀座銃砲店

〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目
13番7号(新保ビル2階)
TEL:03(6226)6133 FAX:03(3543)1444

公式SNSで
お得な情報発信中!!

右記QRコードよりチェック!!



facebook



Instagram



TWITTER



友達追加はこちら!!



ホームページより
カタログをダウンロード
できます。



ビームライフルで射撃スポーツを始めましょう！ *BEAM·RIFLE SHOOTING SYSTEM*

ビーム・ライフルの特徴

- ビーム・ライフルの光源はキセノン管発光で、人体には影響のない安全な光です。
- 標的装置の設置は水銀灯、白熱灯、蛍光灯などを使用する体育館や教室で利用できます。



ビームライフル ジュニア用 型式 MBR-203J

この銃は3.0kgと軽量で、全長も小中学生などに合わせた入門者向けのモデルです。
バットプレートは体格に合わせて、前後に調整できます。
専用バッテリー、サイトセット、ハードケースが付属します。



ビーム・ライフル 型式 MBR-201

この銃はチークピースの調整を容易にした、バランサー付の競技者向けのモデルです。

ビームライフル・システム



ターゲット装置
型式 MT-201



ディスプレイ装置
型式 MD-201L



プリンター装置
型式 MP-216

〔製造・発売元〕

=KOTO= 興東電子株式会社

本社 〒306-0232 茨城県古河市東牛谷 603-2

電話 0280-98-3387 FAX 0280-98-1180

<http://www.kohto.co.jp> E-mail: info@kohto.co.jp

射撃学

射撃における環境順化について

射撃における暑さ・寒さ対策

今年も猛暑という言葉が連日飛び交ったほど、とても暑い夏でした。夏は試合が多い季節ですが、暑くてベストパフォーマンスができなかった、という選手も少なくないのではないのでしょうか。各地で試合をしていると、施設によっては冷暖房の完備が十分ではないといったことがあります。こればかりは競技者にはどうしようもありません。こうした環境のなかで、どのように体を慣れさせ、通常と変わらない試合をすればよいのでしょうか。

今回、ご自身も射手である、高橋浩子先生に暑さ、そしてこれから迎える寒さに対し、どのように対策を講じればいいのか、ご紹介いただきました。

体温調節と競技への影響

射撃競技において、暑さや寒さを意識したことはあるでしょうか。

人間は恒温動物であり、体内の温度を一定に保つ仕組みを備えています。これは「恒常性（ホメオス

タシス）」と呼ばれ、日常生活はもちろん、競技中の集中力や安定した姿勢を支える重要な要素です。

一度この恒常性が崩れると、競技どころではなくなります。高熱や熱中症では、めまいや頭痛が生

じ、低体温では激しい震え（シバリング）が起こります。いずれもパフォーマンスに深刻な影響を与えかねません。

射撃と温度環境

近年は射場の冷暖房設備が整い、国内大会では極端な環境に直面することは少なくなりました。しかし、国際大会では事情が異なります。冷暖房の状態は国や会場によってまちまちであり、実際に現地に行ってみなければわからないことも多いのです。

射撃競技は結果が点数で示されます。暑さや寒さを理由にしても、得点は変わりません。したがって、いかなる環境でも自分の力を発揮できるよう、準備を整えておくことが極めて重要となります。

暑熱順化と寒冷順化

対策の基本は「順化」、すなわち環境に慣れることです。

暑熱順化では、発汗機能や皮膚血流を高めることで体温上昇を抑えます。数日から2週間程度で効果が得られます。



Profile

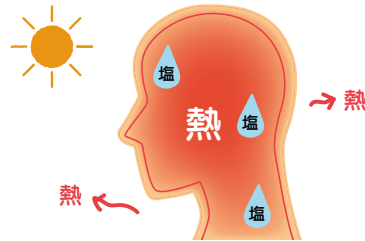
高橋 浩子

たかはし・ひろこ

岐阜大学医学部卒業。医学博士、総合内科専門医、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、肝臓専門医。日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本オリンピック委員会強化スタッフ（医・科学スタッフ）。医療法人木端会きはクリニック勤務、愛知文教女子短期大学非常勤講師。岐阜県ライフ射撃協会所属、射撃歴30年以上。20年以上にわたり同協会チームドクターを務める。

暑熱順化による体の変化

暑熱順化できていない時



- ・皮膚の血流量が増えにくく、熱放射しにくい
- ・汗に含まれる塩分が多く、ナトリウムを失いやすい
- ・体温が上昇しやすい など

熱中症になりやすい状態

暑熱順化できている時



- ・皮膚の血流量が増えやすく、熱放射しやすい
- ・汗に含まれる塩分が少なく、ナトリウムを失いにくい
- ・体温が上昇しにくい など

熱中症になりにくい状態

※暑熱順化ができて、数日暑さから遠ざかると暑熱順化の効果はなくなってしまいます。自分が暑熱順化できているかをいつも意識し、暑熱順化できていない時には、特に熱中症に注意しましょう。

出典：日本気象協会推進 熱中症ゼロへ

〈暑熱順化〉

(暑さに強い体をつくるためのプロセス)

◆ウォーキングやジョギングを行ない、徐々に強度を上げて体を慣らす(30分程度)。

◆室内で筋力トレーニングやスト

レッチを行なう(30分程度、水分補給を忘れずに)。

◆入浴で深部体温を上げると、その後下がりやすくなり、体温調節機能を鍛えることができます。

寒冷順化では、基礎代謝を高めて熱をつくり出す能力を養います。

〈寒冷順化〉

(寒さに強い体をつくるためのプロセス)

◆寒さを避けて屋外に出る。首・手首・足首を温めれば体感温度は和らぐ。

◆運動で体を温める。下肢など大きな筋肉を動かすと効率的に熱が生じる。

◆筋力トレーニングを継続して代謝を高める。

いずれも無理をせず、適切な防寒・暑熱対策を施しながら行なうことが大切です。

試合に備えた実践的工夫

試合本番で力を発揮するには、練習段階から「模擬体験」を積むことが有効です。

暑い時期には、射座に入る前に涼しい環境でウォーミングアップを行ない、水分を十分に摂取します。競技中に体が熱くなったら冷えた水を少量ずつとり、必要に応じて射座を離れて冷却する勇氣も必要

です。こうした行動が得点につながるかどうかは、練習のなかで繰り返し試し、自分に合ったタイミングを見極めることが肝要です。

寒い時期には、競技開始前の保温が不可欠です。特に首・手首・足首を守ることで冷えを防げます。体が冷えた場合、軽く下肢を動かして熱を生み出す方法もあります。射座を離れるかどうかは点数への影響を考えて判断しなければなりません。これも練習段階で試しておくことが望まれます。

おわりに

暑さや寒さは競技者の集中力や動作精度を大きく左右します。しかし、十分な準備と順化、そして試合を想定した実践的な工夫を重ねれば、気候条件を味方につけることができます。「環境に左右されない強さ」を身につけることこそ、射撃競技者が安定して高いパフォーマンスを発揮するための鍵なのです。

これからももっと、
私はスポーツを楽しむんだ。

卓球歴24年。バスケ歴1日。

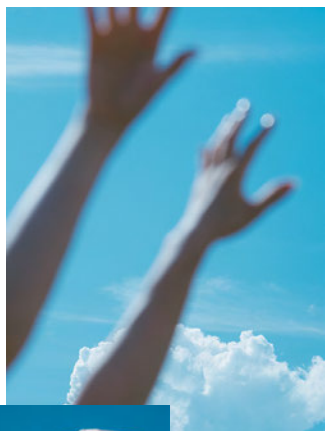
卓球の200倍もの重さがあるボールは、
なかなか言うことを聞いてくれない。

それでも、体を動かすだけで気持ちがいい。

初対面でもあっという間に仲間になれる。

競技人生での楽しさとは違う、

スポーツの楽しさに出会えた。



スポーツを極める人も、楽しむ人も、
すべての人のために、
スポーツくじの収益は使われています。

スポーツくじ   

スポーツくじは、スポーツと人を育てる仕組み。

日本デフ射撃、 まもなく 世界デビュー



東京2025デフリンピック カウントダウン、スタート

大会日程

<https://deaflympics2025-games.jp>

デフリンピック
公式サイト



11月16日(日)

10mエア・ライフル男子 永田 英司、濱谷 秀平
女子 柳田かれん

11月18日(火)

10mエア・ライフル混合 濱谷選手、柳田かれん選手

11月19日(水)

50mライフル伏射男子 高桑 昭紀

11月20日(木)

50m 伏射女子 桂 玲子

11月22日(土)

50m ライフル3姿勢女子 桂 玲子

観戦方法

次のYouTube チャンネルに
アクセスしてください



URL : <https://www.youtube.com/@TOKYO2025DEAFLYMPICS>

きこえない・きこえにくいアスリートのための
祭典・東京2025デフリンピックがいよいよ開
幕します。

前号でご紹介したとおり、デフリンピックが日
本で行なわれるのはこれが初めて。日本の射撃
競技がこの大会に参加するのも今回が史上初と
なります。

この舞台に挑むのは、50m ライフル3姿勢の、
日本ろう者ライフル射撃協会（デフラ）会長でも
ある桂玲子選手と 50m 伏射高桑昭紀選手、エ
アライフル 10m の永田英司選手、濱谷秀平選手、
柳田かれん選手の5名です。今号では、出場す
る選手と指導にあたるコーチ、監督にスポットを
あてて紹介します。

なお、デフリンピックの会場となるのは、都内
各地のスポーツ施設。ライフル射撃はナショナル
トレーニングセンター・イーストで行なわれます。
試合は YouTube でお楽しみください。

戦する5人の選手たち

濱谷 秀平

10mエア・ライフル代表

はまや・しゅうへい／
1994年12月10日生まれ。東京都町田市出身。

またまた出かけた先で行なわれていたビームライフル体験会に参加したことがきっかけで始め、昨年、銃の所持許可を取得。本格的に取り組むようになりました。射撃は自分自身の内面と向き合うスポーツです。心技体が一致すると、狙いどおりに標的にあたります。そこで得られる大きな達成感が私にとっての射撃の魅力です。射撃と出会い、仕事にも積極的になりました。今回の東京開催をきっかけに、デフリンピックがもたら

パラ射撃関係者の方から誘われて合宿を見学させていただき、射撃が年齢を問わない共生スポーツであるという点に興味をひかれて始めました。エアライフルを所持して約1年になります。子どもの頃から野球、バレーボールとスポーツに親しんできましたので、デフリンピックの存在は知っていました。今回東京で行なわれるので、ボランティアなどにかしら関わりたいと思っていましたが、まさか自分が選手として出場する立場になるとは思っていなかった

自分が出場する立場になるとは思っていなかった



永田 英司

10mエア・ライフル代表

ながた・えいじ／
1972年7月3日生まれ。神奈川県逗子市出身。

今回の東京開催をきっかけに、デフリンピックがもたら

またまた出かけた先で行なわれていたビームライフル体験会に参加したことがきっかけで始め、昨年、銃の所持許可を取得。本格的に取り組むようになりました。射撃は自分自身の内面と向き合うスポーツです。心技体が一致すると、狙いどおりに標的にあたります。そこで得られる大きな達成感が私にとっての射撃の魅力です。射撃と出会い、仕事にも積極的になりました。今回の東京開催をきっかけに、デフリンピックがもたら



心技体が一致すると狙いどおりにあたり、大きな達成感を得られる

桂 玲子

50mライフル伏射／3姿勢代表

日本ろう者ライフル射撃協会会長

かつら・れいこ／1958年生まれ。神奈川県横浜須賀市出身。日本ろう者ライフル射撃協会会長

デフリンピック本番がいよいよ近づいてきました。私も念願だったこの大会に選手として出場しますが、協会としての発掘・育成、広報といった業務も同時に進行しているため、自分自身の練習時間はあまりとれない状況になっています。でも、これは私にとって嬉しいことでもあります。自分の結果よりも、私が発掘してきた選手たちが活躍してくれることが一番です。今大会を日本デフ射撃の足がかりとして、発掘・育成を継続して、デフラ（日本ろう者ライフル射撃協会）を盤石なものにしていくことが会長としての私の使命だと考えているからです。また、世界中のデフ選手と交流を図り、今後の活動に役立てたいという思いもあります。

デフリンピック本番がいよいよ近づいてきました。私も念願だったこの大会に選手として出場しますが、協会としての発掘・育成、広報といった業務も同時に進行しているため、自分自身の練習時間はあまりとれない状況になっています。でも、これは私にとって嬉しいことでもあります。自分の結果よりも、私が発掘してきた選手たちが活躍してくれることが一番です。今大会を日本デフ射撃の足がかりとして、発掘・育成を継続して、デフラ（日本ろう者ライフル射撃協会）を盤石なものにしていくことが会長としての私の使命だと考えているからです。また、世界中のデフ選手と交流を図り、今後の活動に役立てたいという思いもあります。

この大会を二過性のものにせず、発掘・育成を続けることが会長としての私の使命



高桑 昭紀

50mライフル伏射代表

たかくわ・あきのり／
1940年12月9日生まれ。石川県金沢市出身。

自衛隊で射撃を始め、その魅力にひかれてこの年齢に至るまで、ずっと競技を続けてきました。射撃の試合場に張り詰めた、シーンとしたあの独特の緊張感！あれがたまらない魅力です。その瞬間を味わうために走ってきた気がします。おかげで集中力がついたようです。全日本マスターズライフル射撃選手権大会をはじめこれまで数々の大会に出場してきましたが、まさかデフリンピックにも出ることにになるとは考えてもいませんでした。



いというだけで、射撃のレベルはかなり高いものがあると聞いています。でも、出場するからにはぜひとも入賞できるように頑張ります。

世界に挑

自分の状態を知り、
大会本番ではベストを尽くしたい

柳田かれん

10mエア・ライフル代表

やなぎた・かれん/
1998年10月1日生まれ。埼玉県和光市出身。

父がやっていた関係で幼い頃から射撃を身近に感じていました。試合に向け、現在、自分のが、本格的に始めたのは大学卒業後。お世話になった体育の先生から、「デフリンピックに出てみないか」と言われたことがきっかけでした。当初、父が仕事で地方にいたこともあり、練習の仕方わからず手探りの状況の時に、周囲の方々に教えていただきました。今は代表選手に選ばれて安定した練習環境を得られています。

射撃の魅力は一人で集中して行なう競技だということと、試合に向け、現在、自分の体がどんな状態のときに調子がよく、悪いときはどのようにリカバリすればいいのか、研究しています。大会本番ではベストをつくせる状況で迎えられるように準備をしています。



デフ射撃のロゴマークについて



日本ろう者ライフル射撃協会のロゴには、向かい合ったタツノオトシゴが型どられています。これは全日本ろうあ連盟のマークと共通となっています。タツノオトシゴが使用されているのは、一説に「タツノオトシゴに耳がないのは、海に落ちたときに落としてしまったから」といういわれがあることによるものだそうです。

また、タツノオトシゴには昇っていく龍を想像させる姿をしていることから「幸運のシンボル」ともされています。

柳田 勝

監督

やなぎた・まさる/1969年11月17日生まれ。茨城県出身。明治大学。アトラント1996・アテネ2004オリンピック出場。柳田かれんは実娘。

「桂さんからデフ射撃の依頼が来ている」と聞き、知己のバラ射撃・ナショナルコーチの猪坂桂さんからの話だと勘違いしたところがそもそものきっかけでした。長らく射撃競技から離れていましたので、知らない方だと最初からわかっていたらこの縁はなかったかもしれません。

指導にあたり、桂会長、高桑さんは経験豊富ですでに自身のスタイルを持っていらっしゃるので、ケガのないよう、無理のない練習メニューを組みました。エアの選手については当初、自分の知っている知識や経験をすべて伝えたいと思って臨みましたが、基礎ができていないところに知識を詰め込んでも身につかないということがわかり、基礎に重点を置いた指導を行なうことを心がけました。その結



3世代が同居する今回のチームジャパン 温かい目で応援いただければ

酒寄 貴瀬

コーチ

さかより・たかせ/1973年8月18日生まれ。千葉県四街道市出身。看護師。リオデジャネイロ2016パラリンピック日本代表監督。アンチ・ドーピングクリーンスポーツエデュケーター。日本ライフル射撃協会常務理事。主な成績/平成14年東日本ライフル射撃競技選手権大会AR40女子優勝。

マスターズの大会で一緒に出場させていただいたことがある桂会長からお声がけいただき、デフ日本代表チームのコーチとして指導にあたっています。

一口にデフといっても、生まれつききこえない、きこえにくい、後天的にきこえなくなった、きこえにくくなったなど、人によつてきこえの状態はさまざまです。そのため、コミュニケーションのとり方も選手によって異なるので、最初はその点を不安に感じていました。しかし、ジェスチャー、筆談、口話、アプリなどさまざまな活用することによって、いまではかなり選手たちとコミュニケーションが図れるようになってきたと思います。



限られた練習時間のなかで、
大きく成長してきた頼もしい選手たち

このチームは一人ひとり目標を持ち、限られた時間のなかで精一杯努力しようという思いを持った選手ばかりです。仕事をもちの方ばかりなので練習は週末に限られてしましますが、「射撃が大好き」という気持ちで選手たちを支えています。わずかな強化期間で大きく成長しています。コーチとして、頼もしいチームに育つてきたと嬉しく感じています。

果、伸びしろのある選手たちばかりだからでしょう。短い期間で急激に力がついてきました。現在、その伸びは落ちてきて、安定感が出てきました。また、どの選手も代表が決まって自覚が芽生えてきて、教える立場として非常にやりがいを感じています。

今回の日本選手団は20代から80代と幅広く、年齢層も、射撃歴もさまざまです。いわば、3世代が同居するようなチームジャパン。温かい目で応援してください。

新会員登録システム!!

初めての SHOOTERS and SUPPORTERS HUB



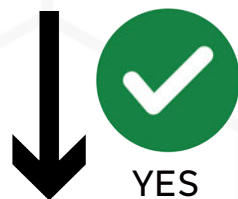
今年度に入り新規会員登録の受付を開始していましたが、いよいよ11月より射撃競技に携わるすべての方を対象に、新会員サービスシステム「SHOOTERS and SUPPORTERS HUB（シューターズ）」の全機能をリリースいたします。

これまで紙や複雑な手続きに費やしていた時間を削減し、競技に集中できる環境を整えることが「シューターズ」の使命です。
入会申請・会費支払い・推薦申請・所持銃の放銃報告・会員情報更新・資格確認・適格証明の申請／出力など、射撃ライフをサポートする多彩な機能をワンストップで提供します。

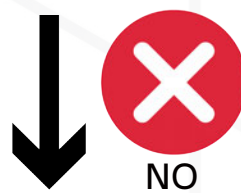
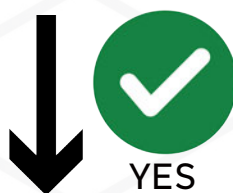
さらに、2026年度の会員継続手続きは「シューターズ」経由での実施が必須となります。そのため **11月から**、まずは初回利用登録をお願いいたします。

ご自身の現在の状況によって利用開始の方法が異なります。下記のフローチャートに沿って進んでいただき、表示されている専用 QR コード（URL）から登録を開始できます。

Q1：過去に一度でも日本ライフル射撃協会の会員になったことはありますか？



Q2：過去に一度でもニチラネット（旧システム）にログインしたことがありますか？



<https://www.riflesports.jp/shootersqyes-yes/>

<https://www.riflesports.jp/shootersqyes-no/>

<https://www.riflesports.jp/shootersqno-no/>



NEWS BOARD

2025

OCTOBER

会員サービスシステム SHOOTERS 11月、全会員への リリーススタート！

昨年度プラットフォームが完成し、本年度から新規会員にリリースを開始しております。会員サービスシステム『SHOOTERS』。11月から、全会員へフルリリースいたします。

入会申請・会費支払い・推薦申請・所持銃の放銃報告・会員情報更新・資格確認・適格証明の申請／出力など、射撃ライフをサポートする多様な機能をワンストップで提供します。さらに、2026年度の会員継続

手続きは「シューターズ」経由での実施が必須となります。そのため11月から、まずは初回利用登録をお願いいたします。

ご自身の現在の状況によって利用開始の方法が異なります。前ページのフローチャートに沿って進んでいただき、表示されている専用QRコード（URL）から登録を開始できます。

『SHOOTERS』の全会員向けリリースに伴い、「ニチラネット」は入れ替わりで終了いたします。

新しい情報管理システム『SHOOTERS』には会員のみなさまにとって、さまざまなメリットがあります。特に、競技者としてのご自身の情報を多角的な視点で見られることが挙げられます。例えば、年代別ランキング。同世代のなかでご自身がどの位置にいるのか一目でわかるようになります。

これらはホームページと連動することで実現する仕組みです。ホームページのリニューアルは今年度中に完成する予定ですので、来年度から自分の現在の位置を可視化できるようになることでしょう。『SHOOT

ERS』を利用し、ぜひ射撃を続けるモチベーションにしていただければと思います。

新宿区ふるさと納税の活動実績報告

ふるさと納税が始まって数年が経ちました。

協会の厳しい財政を担う手段として、2023年から毎年、会員のみなさまに支援のお願いをしています。おかげさまで、みなさまからのご支援の輪が少しずつ広がってきております。感謝申し上げます。

では、このふるさと納税による寄付金がどのように使われているのか、知りたいと思っていられる方もいらっしゃると思います。

この3年間、新宿区より受けました団体支援金は、JRSF将来構想で定義されているアスリートの育成・競技の普及・社会貢献の役割を加盟団体と連携して実現するために使用しています。

3年間は次のとおり使用しています。

なお、『SHOOTERS』への利用登録方法につきましては34ページをご確認ください。

2022年度（令和4年度）

新宿区より団体支援金

総額1,120,000円

①加盟団体支援金

新宿区ふるさと応援寄付に賛同した8加盟団体へ、アスリートの育成、普及を目的として支援金を交付。

521,500円

②新宿区ふるさと応援寄付金団体支援金活用事業

競技を広く普及するため、スポーツ射撃体験会において活用する展示パンフレットを作成。98,670円

③競技運営関係費

「2022年度全日本ミックスチーム射撃選手権大会」「2022年度全日本ライフル射撃競技選手権大会」について、オリンピックとパラリンピックの試合運営を経験した審判団を本部から役員として派遣するための費用。

537,726円

審判団を派遣した競技会の様子

**2023年度(令和5年度)**

新宿区より団体支援金

総額 1,994,000円

①加盟団体への普及支援

新宿区ふるさと応援寄付に賛同した23加盟団体へ、アスリートの育成と競技の普及を目的として交付。

956,900円

②新宿区ふるさと応援寄付金団体支援金活用事業

前年度に引き続き、競技の広報と社会貢献を示すため、展示パネルおよびパンフレットを作成。

「ネットから申し込みをしたい」という要望を受け、ふるさと納税簡単申し込みシステムを構築。スマートフォン、パソコンからの申し込みを可能とした。

1,082,650円

2024年度(令和6年度)

新宿区より団体支援金

総額 2,515,000円

①加盟団体への普及支援

新宿区ふるさと応援寄付に賛同した24加盟団体へ、アスリートの育成と競技の普及を目的として交付。

1,162,900円

②新宿区ふるさと応援寄付金団体支援金活用事業

より多くの方にライフル射撃競技を理解していただくため、国民スポーツ大会等のプログラムに掲載する競技紹介資料を全面的にリニューアル。従来のテキスト中心のものから、写真やイラストを豊富に使用した視覚的にわかりやすいものへと刷新。今後は体験会などのチラシにも活用を

予定している。 140,160円

③競技運営関係費

競技運営環境の充実・強化し、より魅力的な競技会運営を実現するためS・U・Sログデータ連携ツールを開発し、選手が撃った点数を瞬時にライブ配信画面に表示できるシステムを導入。オンラインで観戦する人々

4,153,768円

訃報**元チームドクター
清水 寛氏、ご逝去**

2000年シドニー、2004年アテネと二つのオリンピックでチームドクターを務めた清水 寛(しみず・ひろし/医療法人東洋病院)氏がこの春、ご逝去されていたことがわかりました。

西洋医学に偏らず、東洋医学にも精通。その知見を生かした診療を行なうドクターでした。日本チームに『薬箱』のシステムを導入したのも清水氏で、選手では判断が難しい薬の選択を症状に応じてアドバイスしてくれることから、選手

にも会場にいるような臨場感を提供できるようにした。また、優勝カップの購入、競技会ロゴの作成など、大会参加者のモチベーション向上、競技会のブランド価値を高めるための取り組みも実現。

たちからも厚い信頼を得ていました。

自身も射手。第28回国民体育大会スモールボアライフル伏射で入賞するなどの経歴の持ち主でもあります。

「寡黙で穏やかな方でしたね。太極拳も嗜まれ、そこで学んだ呼吸法を選手に教えたり、地元の病院で地域住民を集め、ボランティアで太極拳の教室を行なうなど、芯が強く、熱い思いをお持ちでした」とは、当時日本選手団の監督を務めていた藤井優名誉副会長。まさに射撃界のドクターコト。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



夏の定番のアイスも 考えて食べれば 栄養を補える味方になる！

今 年もまだまだ暑さが続いていますか、みなさんはどんな暑さ対策をしていますか？ 私は凍った飲み物を用意して試合に臨んでいることが多いです。暑さで頭がぼーっとすると狙いが定まらなくなるので、コンディション管理は難しいですがとても大切です。今回はそんな暑いときに食べたい『アイス』について、学んだことがあるのでみなさんに紹介します。

コンビニやスーパーでアイスを買ったとき、裏面の名称を見たことはありませんか？ 実はアイスには『アイスクリーム』『アイスミルク』『ラクトアイス』『氷菓』の4種類あるんです。これらは乳固形分と乳脂肪分の量によって分類されています。『アイスクリーム』とは乳固形分15%以上（うち乳脂肪分8%以上）のものを指し、濃厚でコクのある味わいが特長です。『アイスミルク』は乳固形分10%以上、乳脂肪分3%以上で、ややさっぱりした印象。『ラクトアイス』は

乳固形分3%以上とさらに軽めで、『氷菓』は乳成分がほとんど入っていないか、まったく入っていないもの。いわゆるかき氷などのことです。そして、この違いは味だけではなく、栄養価にも関わっています。

乳固形分が多い『アイスクリーム』には、牛乳由来のたんばく質やカルシウムがしっかりと含まれています。つまり、同じアイスでも「ただの甘いおやつ」ではなく、牛乳に近い栄養を補える食品になるんです。一方、乳固形分が少ない『ラクトアイス』や『氷菓』は、ほとんどが糖分や植物油。食べすぎるとカロリーは増えても、体の役に立つ栄養は少なめです。

栄養価を考え、食べるなら『アイスクリーム』を選ぶのがおすすめです。美味しいだけでなく、ちよつと栄養面でも得をした気分になります。

もちろん、アイスだけでは夏の疲れはとれません。暑さで失いやすい水分や塩分、糖分を意識して補うことも大切です。射撃でも、試合途中で少し甘いものを口にする「よし、もうひと頑張り！」と集中力が戻る気がします。食べ物は楽しみでもあり、体調を支える大事な味方なんです。

秋に向けて少しずつ涼しくなっていくますが、夏の疲れを引きずらないよう、美味しいものを味方にしながら過ごしていきたいしょう。



ディズニーで人気のミッキーアイス。暑い日にはぴったりのひんやりスイーツです。

■Meyton(マイトン)電子標的システム



測定精度1/10mmを実現した

世界最高精度のシステム

192本の赤外線レーザーが交差することで全ての測定範囲において

1/10 mmの測定精度と

1/100mmの分解能を実現

し比類なき精度を実現。



Meyton(マイトン)電子標的 導入射撃場（順不同）：

新潟県立胎内ライフル射撃場(10m,50m)、福井県立ライフル射撃場(10m,50m)、宮城県ライフル射撃場(10m, 50m)、神奈川県立伊勢原射撃場(10m,50m)、くりはま花の国エアライフル場(10m)、茨城県宮ライフル射撃場(10m,50m)、長野県中尾山射撃場(10m,50m)、沖縄県ライフル射撃場(10m,50m)、荒川区総合スポーツセンター(10m)、慶應義塾大学(50m)、中央大学(10m,50m)、日本大学(10m,50m)、明治大学(10m)、その他高校・大学多数導入

※メンテナンス（導入：國友銃砲火薬店様）：大阪府能勢町ライフル射撃場(10m,50m)、同志社大学(10m,50m)

國友銃砲火薬店様設置他射場につきましてもメンテナンスを行いますので気軽にお問い合わせください。

有限会社 三和管財

〒277-0862 千葉県柏市篠籠田1326 TEL: 04-7143-6122 Fax: 04-7147-0745

Meyton社 / Noptel社 / Mantis社 / HoRa社 輸入代理店

ワルサー新型エアライフルLG500登場！



LG500 itec

TARGETED PERFECTION

最新バレルクランプ
により剛性が高まり
ました！

グリップ内臓型の最新
電子トリガー登場！
メカニカルから
ユニットのみの交換も
可能です！

公式X始めました！



Shooting World

MOST TRADITIONAL GUNSMITH IN JAPAN KUNITOMO CO., LTD. Since the 16th C.A.D.

(社) 日本ライフル射撃協会オフィシャルサプライヤー

ワルサー社日本総代理店

株式会社 **國友銃砲火薬店**

TEL(075)351-3037 FAX(075)351-3041

〒600-8032 京都市下京区寺町通仏光寺東入 國友ビル 3F

<http://www.kunitomogs.co.jp> E-mail: shooting@zj8.so-net.ne.jp



CONTENTS

巻頭特集

高校生の熱い夏2025

栄光を手にしたアスリートたち リアルVOICEP3

特集

2026アジア競技大会が日本にやってくる！

～Play Back アジア競技大会 P12

東京2025デフリンピック

カウントダウン、スタート P31

ISSF TOPICS

ISSF事務総長アレッサンドロ・N・d・S・ジャコモ氏に聞く P16

連載

大会レポート P18

射撃道 銀座銃砲店 P24

射撃学 射撃における環境順化について P28

にしだあおいの栄養のあいうえお P37

ライスポNEWS BOARD P35

射撃人 北川 和徳 理事・広報部会長 P39

今月の表紙

今号では高校生、アジア、デフリンピックと3つの大会を特集しました。3大会とも、1丁の銃から始まる競技の魅力にひかれた先人たちがつないできてくれたもの。私たちはここから学び、次の時代につなげていきたいものです。(写真：谷川 諒)

ライフルスポーツ 秋 2025 470
OCTOBER

発行：公益社団法人日本ライフル射撃協会
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

TEL 03-6721-0792 FAX 03-6721-0793

Http://www.riflesports.jp/

Email : rifle@riflesports.jp

発行人：橋本 聖子

編集：総務委員会広報部会、78works

デザイン・印刷：明宏印刷株式会社

※ 本誌はスポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています。

記載記事、写真などの無断転載はお断りいたします。

取材に関しましては下記までご連絡ください。

E mail : shuzai@riflesports.jp

次号は2026年1月15日発行予定です。

射撃人

～ Shooting for All, All for Shooting ～

共生スポーツとしての可能性と本質的な魅力に目を向ければ、 新たな展開が見えてくる

きたかわ かずのり
北川 和徳 理事・広報部会長



10点を8度も記録しました。ヘッドフォンを付けてライフルを構えると音が聞こえ、目が見えなくても、その音の高さで照準が正しいかどうかを判断できる仕組み

射撃の競技人口を増やすことは難しい状況でも、共生スポーツとしての可能性とその本質的な魅力に目を向ければ、競技の未来に向けた新たな展開も見えてくると考えています。

ただ、日本ライフル射撃協会の活動を自分が毎週書いていたコラムのテーマに取りあげたことは何度かあります。その一つがチームライフル・ビームピストルの体験会でした。10月からスポーツ庁長官に就任した日本パラリンピック委員会の河合純一委員長（当時）が参加されていました。河合氏は全盲の競泳のパラリンピアン。初心者なのに計20発撃つて、満点の10点を8度も記録しました。ヘッド

殺傷力のある銃を使用する機会、社会の成熟とともに制限される方向に進むでしょう。そうでなくとも、一般の人にとって射撃は数居の高いスポーツです。一方で、「的を狙ってあてる」行為は、人間の本能的な欲求につながる遊びです。誰にでも的を狙って石などを投げたりした経験はあるはず。eスポーツの「シューティングゲーム」は世界的に大人気です。

2025年6月から外部有識者として理事を務めさせていたでいます。射撃スポーツの経験はありません。日本経済新聞で運動部の記者として30年以上主にオリンピック競技を中心に担当してきましたが、残念ながら射撃競技を現場で取材した経験はありません。

もう一つは、eスポーツに対する取り組みでした。ご存じのように、国際オリンピック委員会（IOC）は若者に人気があるeスポーツとオリンピックを結びつけようとしており、27年にはサウジアラビアで「オリンピックeスポーツゲームズ」が開催されます。この動きに国内の競技団体でもっとも積極的に取り組んでいるのは、私の知る限りではライフル射撃です。

性差や障害の有無に関わらず、工夫次第で誰もが一緒に競い合える射撃競技の共生スポーツとしての可能性を感じました。

みてした。河合さんはおそらく、視覚以外の感覚が研ぎ澄まされているのでしょう。



射撃の競技人口を増やすことは難しい状況でも、共生スポーツとしての可能性とその本質的な魅力に目を向ければ、競技の未来に向けた新たな展開も見えてくると考えています。

MIZUNO
TRAINING



なりたいジブンへ

着るだけで、スイッチが入る。
心に火がついて、
身体を動かさずにはいられなくなる。
走る。飛ぶ。跳ねる。
汗を流すことが、
やがて力になっていく。
本気で戦うその日を目指して。



REACH BEYOND